仙台市文化財調査報告書第138集

大野田古墳群

——発掘調査報告書——

1990.3

仙台市教育委員会

仙台市文化財調査報告書第138集

大野田古墳群

――発掘調査報告書――

1990.3

仙台市教育委員会

序

日頃、仙台市の文化財保護行政に対しまして多大の御協力をいただき、誠に感謝にたえません。本年度は仙台市にとりましても市政施行100周年を迎えるとともに、全国第十一番目の政令指定都市に昇格するという大きな区切りの年となりました。仙台市の南部に位置する大野田地区におきましても、高速鉄道（地下鉄）の開通後、周辺地域の土地区画整理や都市計画道路の整備が進められ、地域環境が大きく変わりつつあるところであります。こうした動きの中で開発に伴う発掘調査が頻繁に行われ、年毎に先人の生活文化の様相が少しづつ解明されつつあることはよろこばしい反面、遺跡の保存に関する種々の問題が露呈していることも事実であり、文化財保護の問題となっていることも否めないところであります。

さて、この度発掘調査いたしました大野田地区は、古くから水田地帯として開けていた地域でありますが、その中に春日社古墳や王の壇古墳、鳥居塚古墳などの古墳が点在しており、仙台平野の古墳文化の展開を知る上で重要なところとなっております。調査におきましては、古墳時代の人々の生活の痕跡の一端が明らかにされ、大野田古墳群を解明するための一助となる成果が得られております。こうした文化遺産を市民の宝として永く後世に継承していくことは、これからの「まちづくり」には欠かせない大切なことであります。今後とも市民各位の御協力を念願して序といたします。

１９９０年3月

仙台市教育委員会

教育長　藤　井　　黎

本　文　目　次

序　文
例　言
Ⅰ　調査に至る経過 …… 1
Ⅱ　調査要項 …… 1
Ⅲ　遺跡の位置と環境 …… 3
Ⅳ　調査の方法と経過 …… 5
Ⅴ　基本層位 …… 6
Ⅵ　検出遺構と出土遺物 …… 9
(1)Ⅴ層検出遺構 …… 9
(2)Ⅵ層検出遺構と出土遺物 …… 10
Ⅶ　まとめ …… 23

例　　言

1．本書は共同住宅（アパート）建築工事に伴う大野田古墳群の発掘調査の報告書である。

2．大野田古墳群の遺跡範囲については、従来の文化財台帳の登録範囲では不十分であると判断されたため、範囲を修正して登録している。今回の調査地は、修正後の大野田古墳群の範囲内に入ることになり、「大野田古墳群」発掘調査として報告する。

3．小溝状遺構群検出種子の同定について、東北大学農学部星川清親教授に御教授いただいた。

4．本書の文章及び実測図中の方位は磁北で統一してある。因に調査区の南北ラインは10°東偏している。

5．本書中の土色は「新版標準土色帳」（小山・竹原：1973）を使用した。

6．遺構配置図中に任意単点を設けて標高を明示した。

7．第１図は仙台市仙塩広域都市計画図2500分の１の一部を縮小して使用したものである。

8．第２図は建設省国土地理院発行の25000分の１「仙台市南西部」「仙台市南東部」の一部を縮小して使用したものである。

9．報告書作成のための整理、本文執筆、編集は主浜光朗が行なった。

10．本調査における出土遺物、実測図、写真等の資料は、仙台市教育委員会で一括保管しているので活用されたい。

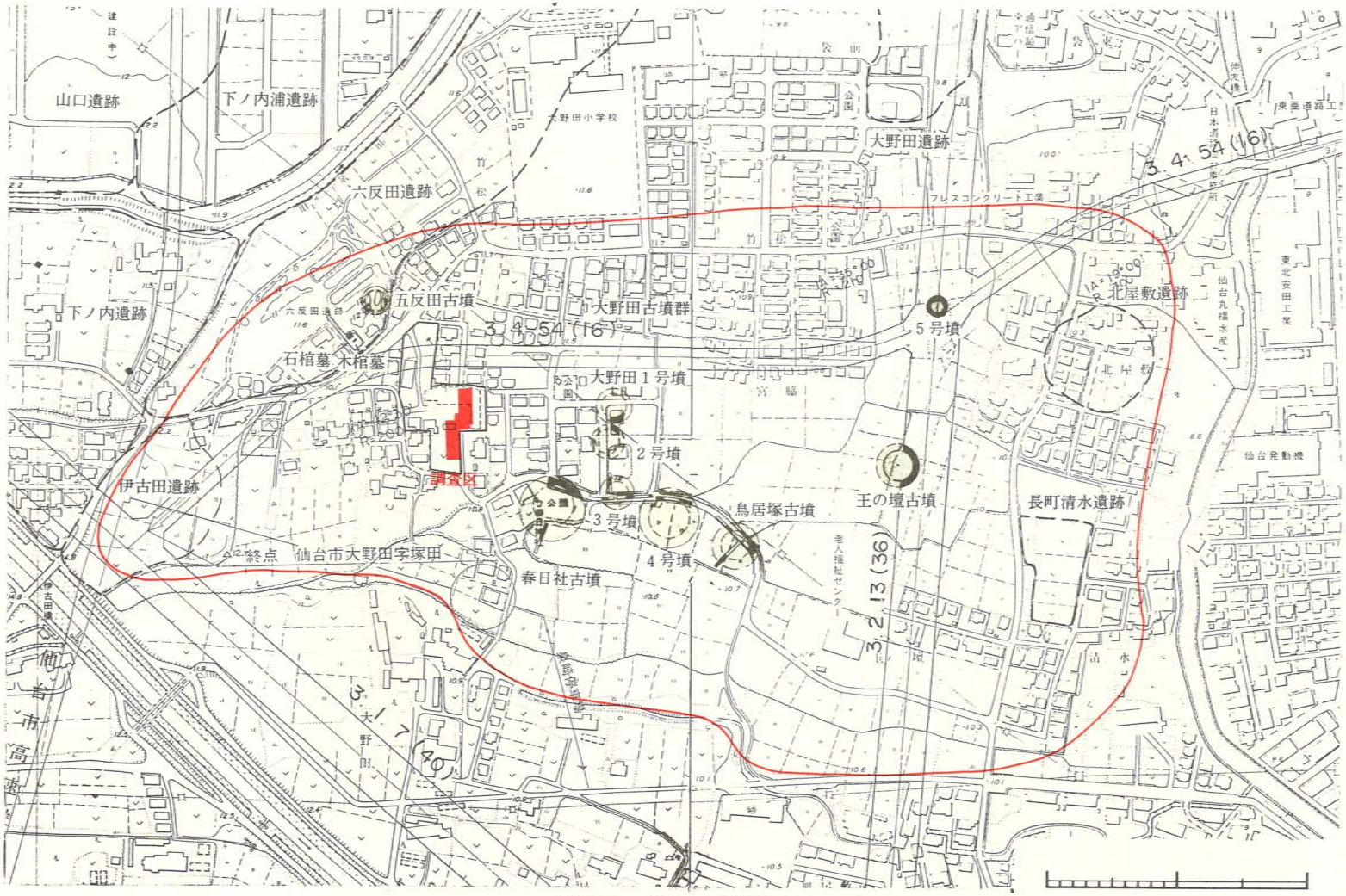
I　調査に至る経過

大野田古墳群は、仙台市南部、郡山低地の自然堤防上に位置し、春日社古墳や鳥居塚古墳、王の壇古墳等７基の古墳が確認されている遺跡である。近年遺跡の所在する地区周辺では、高速鉄道（地下鉄）の開通、都市計画道路の整備等開発が推進されており、急速に田園地帯の姿が変容しつつある地域である。その中にあって大野田古墳群は、春日社古墳、王の壇古墳の他は全て既に削平されており、現在の住宅地や、水田の下に埋没しているため、全体の範囲や古墳の数については明らかにされておらず、遺跡の内容の解明が急がれているところである。

1989年６月25日付で、株式会社萩野工務店より「大野田古墳群」として仙台市文化財分布図に示されている境界線の西辺に接する、仙台市太白区大野田字千刈田20・21－１にかかる地区2316㎡について、共同住宅（アパート）建築にかかる発掘届が提出された。仙台市教育委員会では申請者と協議を重ね、大野田古墳群が当該地まで及んでいることが予想されたため、1989年７月４日より試掘調査を実施した。その結果、溝状遺構、ピット等の遺構及び土師器片、埴輪片等の遺物が検出され、大野田古墳群の遺跡範囲が当該地区よりさらに西側に広がっていることが確認された。これをうけて再度申請者と協議を行ない、工事により遺跡が損なわれる範囲約643㎡について、記録保在を図ることを目的とした発掘調査を行うこととなった。発掘調査は1989年10月25日より開始した。

II　調 査 要 項

・遺　跡　名：大野田古墳群　（仙台市文化財登録番号Ｃ－054、宮城県遺跡番号01361）
・調 査 場 所：仙台市太白区大野田字千刈田20・21－１
・調査対象面積：約2316㎡（建築物敷地面積　約643㎡、発掘面積　約593㎡）
・調 査 期 間：試掘　　自　1989年７月４日　至　同７月６日
　　本調査　自　1989年10月25日　至　同12月27日
・調 査 主 体：仙台市教育委員会
・調 査 担 当：仙台市教育局社会教育部文化財課
　　試掘　　田中則和　本調査　　主浜光朗
・調査参加者：小沼ちえ子、佐藤洋子（整理含む）赤川千広、阿部清太郎、壱岐豊子、遠藤いな子、小林国子、佐野たみえ、島貫美代、鈴木つや子、津島久子、三浦つよの、森　節子、森　金三
　　佐藤　慶（整理のみ）
・調 査 協 力：株式会社萩野工務店



第1図　大野田古墳群分布図　―赤線に囲まれた部分が古墳群の推定範囲―

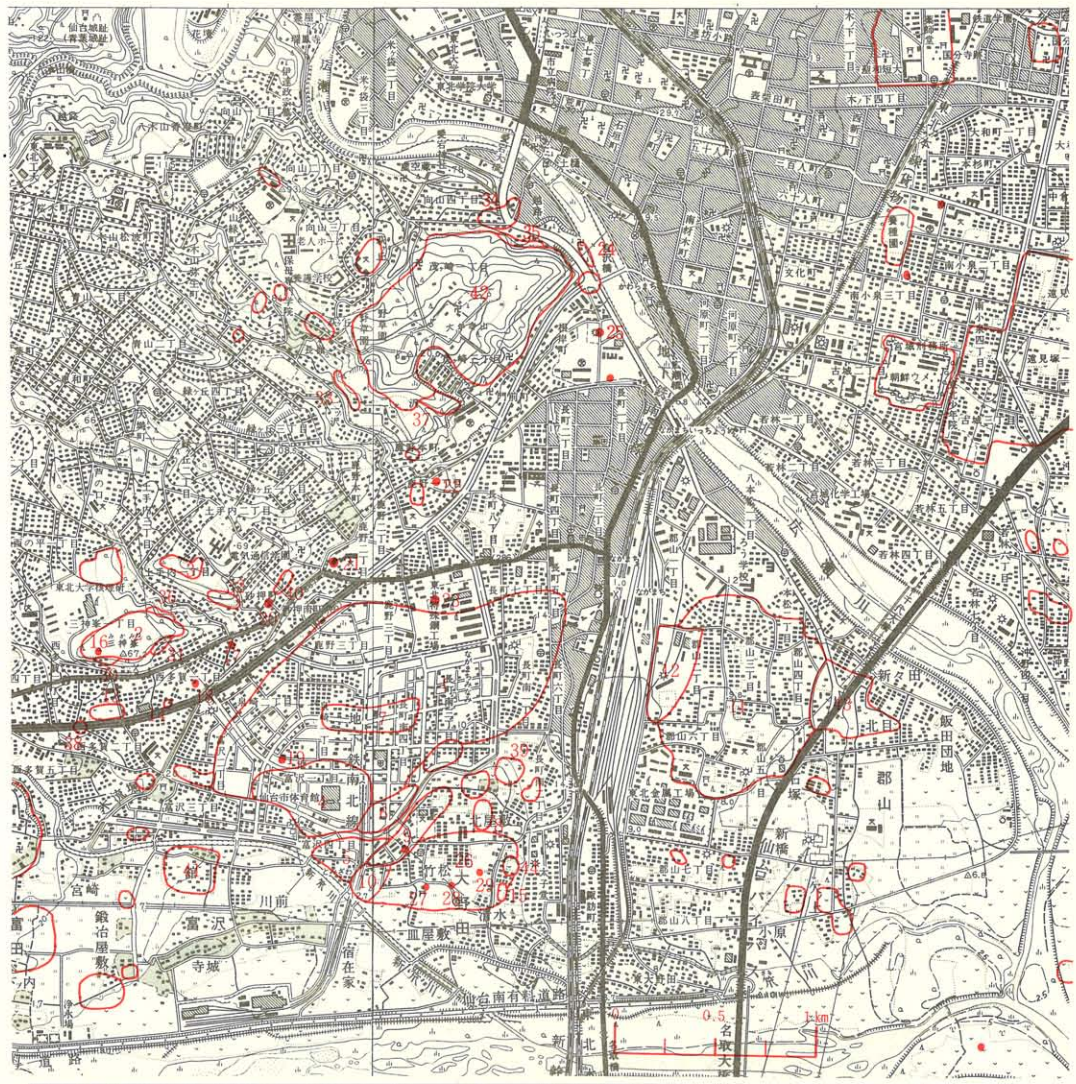
Ⅲ　遺跡の位置と環境

大野田古墳群は、東北本線長町駅より南南西およそ1.5～２㎞の地点、仙台市太白区大野田地内に所在する。本遺跡の南方約0.8㎞には名取川が、北方約３㎞には名取川が望める所である。遺跡の範囲は東西約450ｍ、南北約250ｍで面積は約110,000㎡に及ぶものと推定される。

遺跡周辺の地形を概観すると、西側に南北に連なる奥羽山脈とその東麓から派生する陸前丘陵、さらに東方に宮城野海岸平野が広がっている。仙台市付近では陸前丘陵を広瀬川と名取川が東流しており、その河間段丘を青葉山丘陵（最高標高212ｍ）、広瀬川以北を七北田丘陵（標高500ｍ前後）、名取川以南を高館丘陵（標高200ｍ前後）と呼んでいる。広瀬、名取両河川は中流域に下刻作用により４～５段の段丘地形を発達させている。それらは古期より青葉山段丘、台原段丘、上町段丘、中町段丘、下町段丘と呼称されている。また、両河川は丘陵を貫流した後、沖積作用により宮城野海岸平野を形成している。宮城野海岸平野は、地理的条件や成因、地質などからいくつかに地形区分されており、仙台市南部の広瀬川と名取川の合流点付近では河間低地を郡山低地、広瀬川以北を霞ノ目低地、名取川以南を名取低地と呼称されている。

遺跡の所在する大野田地区は、宮城野海岸平野の中でも郡山低地に所属する。郡山低地は、北東縁と南縁を広瀬川と名取川によって画され、北西縁は長町－利府線による構造線で画された扇状地性の沖積面である。標高は約７～20ｍである。また、広瀬川と名取川両河川沿いに自然堤防が良好に発達している他、その中央部を南北に走る自然堤防もみられる。そして、自然堤防の背後には後背湿地が広がっている。大野田地区は、郡山低地南西部の自然堤防と後背湿地に立地し、北部に名取川の支流である笊川が曲流している。笊川は青葉山丘陵中の太白山付近に源を発する河川で、改修以前には流路を変しつつ頻繁に氾濫をくり返していたことが知られている。

大野田地区及びその周辺には数多くの遺跡が分布しており、近年の開発の進展に伴い、仙台市内でも発掘調査が比較的多く行なわれている地域である。これまでの調査により各時代の様相が次第に解明されてきている。旧石器時代では、富沢遺跡より後期旧石器時代の森林が検出され、樹木や石器の他に焚火跡や動物の糞などが検出されており、既にこの時期には生活の場となっていたことが明らかになっている。縄文時代では、下ノ内浦遺跡より早期前葉の遺構と遺物が検出され、中期中葉以降には自然堤防上に立地する六反田遺跡、下ノ内遺跡、下ノ内浦遺跡、伊古田遺跡等に居住域及び墓域等が形成される。この自然堤防上の地域は居住域として後世に連続している。弥生時代には広大な後背湿地に立地する富沢遺跡から水田跡が検出されている。また、西台畑遺跡では中期の甕棺墓、下ノ内浦遺跡から後期の墓壙や竪穴遺構が検出されている。これらに伴う集落跡は不明であるが、後背湿地周辺の自然堤防上や段丘縁辺部に


仙台城跡
(青葉城跡)
北環
木下二丁目
木下四丁目
向山西丁目
向山丁目
老人ホーム
落合
大倉山
長町
長町二丁目
長町三丁目
長町八丁目
長町四丁目
長町南
東北大学医学部
神峯
西神峯
真野三丁目
真野
押廻
長町駅
長町南駅
南北線
仙台市体育館
北屋敷
辻松
大野
清水
川前
富沢
寺城
宮崎
鍛冶屋敷
富田
内
皿屋敷
宿在家
仙台南有料道路
新北橋
名取大橋
小原
新橋
郡山
郡山八丁目
郡山七丁目
郡山六丁目
郡山五丁目
郡山四丁目
郡山三丁目
郡山二丁目
郡山一丁目
新田
北目
飯田団地
新田
若林
若林五丁目
若林四丁目
若林一丁目
南小泉三丁目
文化町
河原町二丁目
河原町一丁目
八本松
荒井
荒井東
荒井東二丁目
荒井東三丁目
荒井東四丁目
荒井東五丁目
荒井東六丁目
荒井東七丁目
荒井東八丁目
荒井東九丁目
荒井東十丁目
荒井東十一丁目
荒井東十二丁目
荒井東十三丁目
荒井東十四丁目
荒井東十五丁目
荒井東十六丁目
荒井東十七丁目
荒井東十八丁目
荒井東十九丁目
荒井東二十丁目
荒井東二十一丁目
荒井東二十二丁目
荒井東二十三丁目
荒井東二十四丁目
荒井東二十五丁目
荒井東二十六丁目
荒井東二十七丁目
荒井東二十八丁目
荒井東二十九丁目
荒井東三十丁目
荒井東三十一丁目
荒井東三十二丁目
荒井東三十三丁目
荒井東三十四丁目
荒井東三十五丁目
荒井東三十六丁目
荒井東三十七丁目
荒井東三十八丁目
荒井東三十九丁目
荒井東四十丁目
荒井東四十一丁目
荒井東四十二丁目
荒井東四十三丁目
荒井東四十四丁目
荒井東四十五丁目
荒井東四十六丁目
荒井東四十七丁目
荒井東四十八丁目
荒井東四十九丁目
荒井東五十丁目
荒井東五十一丁目
荒井東五十二丁目
荒井東五十三丁目
荒井東五十四丁目
荒井東五十五丁目
荒井東五十六丁目
荒井東五十七丁目
荒井東五十八丁目
荒井東五十九丁目
荒井東六十丁目
荒井東六十一丁目
荒井東六十二丁目
荒井東六十三丁目
荒井東六十四丁目
荒井東六十五丁目
荒井東六十六丁目
荒井東六十七丁目
荒井東六十八丁目
荒井東六十九丁目
荒井東七十丁目
荒井東七十一丁目
荒井東七十二丁目
荒井東七十三丁目
荒井東七十四丁目
荒井東七十五丁目
荒井東七十六丁目
荒井東七十七丁目
荒井東七十八丁目
荒井東七十九丁目
荒井東八十丁目
荒井東八十一丁目
荒井東八十二丁目
荒井東八十三丁目
荒井東八十四丁目
荒井東八十五丁目
荒井東八十六丁目
荒井東八十七丁目
荒井東八十八丁目
荒井東八十九丁目
荒井東九十丁目
荒井東九十一丁目
荒井東九十二丁目
荒井東九十三丁目
荒井東九十四丁目
荒井東九十五丁目
荒井東九十六丁目
荒井東九十七丁目
荒井東九十八丁目
荒井東九十九丁目
荒井東百丁目
荒井東百一丁目
荒井東百二丁目
荒井東百三丁目
荒井東百四丁目
荒井東百五丁目
荒井東百六丁目
荒井東百七丁目
荒井東百八丁目
荒井東百九丁目
荒井東百十丁目
荒井東百十一丁目
荒井東百十二丁目
荒井東百十三丁目
荒井東百十四丁目
荒井東百十五丁目
荒井東百十六丁目
荒井東百十七丁目
荒井東百十八丁目
荒井東百十九丁目
荒井東百二十丁目
荒井東百二十一丁目
荒井東百二十二丁目
荒井東百二十三丁目
荒井東百二十四丁目
荒井東百二十五丁目
荒井東百二十六丁目
荒井東百二十七丁目
荒井東百二十八丁目
荒井東百二十九丁目
荒井東百三十丁目
荒井東百三十一丁目
荒井東百三十二丁目
荒井東百三十三丁目
荒井東百三十四丁目
荒井東百三十五丁目
荒井東百三十六丁目
荒井東百三十七丁目
荒井東百三十八丁目
荒井東百三十九丁目
荒井東百四十丁目
荒井東百四十一丁目
荒井東百四十二丁目
荒井東百四十三丁目
荒井東百四十四丁目
荒井東百四十五丁目
荒井東百四十六丁目
荒井東百四十七丁目
荒井東百四十八丁目
荒井東百四十九丁目
荒井東百五十丁目
荒井東百五十一丁目
荒井東百五十二丁目
荒井東百五十三丁目
荒井東百五十四丁目
荒井東百五十五丁目
荒井東百五十六丁目
荒井東百五十七丁目
荒井東百五十八丁目
荒井東百五十九丁目
荒井東百六十丁目
荒井東百六十一丁目
荒井東百六十二丁目
荒井東百六十三丁目
荒井東百六十四丁目
荒井東百六十五丁目
荒井東百六十六丁目
荒井東百六十七丁目
荒井東百六十八丁目
荒井東百六十九丁目
荒井東百七十丁目
荒井東百七十一丁目
荒井東百七十二丁目
荒井東百七十三丁目
荒井東百七十四丁目
荒井東百七十五丁目
荒井東百七十六丁目
荒井東百七十七丁目
荒井東百七十八丁目
荒井東百七十九丁目
荒井東百八十丁目
荒井東百八十一丁目
荒井東百八十二丁目
荒井東百八十三丁目
荒井東百八十四丁目
荒井東百八十五丁目
荒井東百八十六丁目
荒井東百八十七丁目
荒井東百八十八丁目
荒井東百八十九丁目
荒井東百九十丁目
荒井東百九十一丁目
荒井東百九十二丁目
荒井東百九十三丁目
荒井東百九十四丁目
荒井東百九十五丁目
荒井東百九十六丁目
荒井東百九十七丁目
荒井東百九十八丁目
荒井東百九十九丁目
荒井東二百丁目
荒井東二百一丁目
荒井東二百二丁目
荒井東二百三丁目
荒井東二百四丁目
荒井東二百五丁目
荒井東二百六丁目
荒井東二百七丁目
荒井東二百八丁目
荒井東二百九丁目
荒井東二百十丁目
荒井東二百十一丁目
荒井東二百十二丁目
荒井東二百十三丁目
荒井東二百十四丁目
荒井東二百十五丁目
荒井東二百十六丁目
荒井東二百十七丁目
荒井東二百十八丁目
荒井東二百十九丁目
荒井東二百二十丁目
荒井東二百二十一丁目
荒井東二百二十二丁目
荒井東二百二十三丁目
荒井東二百二十四丁目
荒井東二百二十五丁目
荒井東二百二十六丁目
荒井東二百二十七丁目
荒井東二百二十八丁目
荒井東二百二十九丁目
荒井東二百三十丁目
荒井東二百三十一丁目
荒井東二百三十二丁目
荒井東二百三十三丁目
荒井東二百三十四丁目
荒井東二百三十五丁目
荒井東二百三十六丁目
荒井東二百三十七丁目
荒井東二百三十八丁目
荒井東二百三十九丁目
荒井東二百四十丁目
荒井東二百四十一丁目
荒井東二百四十二丁目
荒井東二百四十三丁目
荒井東二百四十四丁目
荒井東二百四十五丁目
荒井東二百四十六丁目
荒井東二百四十七丁目
荒井東二百四十八丁目
荒井東二百四十九丁目
荒井東二百五十丁目
荒井東二百五十一丁目
荒井東二百五十二丁目
荒井東二百五十三丁目
荒井東二百五十四丁目
荒井東二百五十五丁目
荒井東二百五十六丁目
荒井東二百五十七丁目
荒井東二百五十八丁目
荒井東二百五十九丁目
荒井東二百六十丁目
荒井東二百六十一丁目
荒井東二百六十二丁目
荒井東二百六十三丁目
荒井東二百六十四丁目
荒井東二百六十五丁目
荒井東二百六十六丁目
荒井東二百六十七丁目
荒井東二百六十八丁目
荒井東二百六十九丁目
荒井東二百七十丁目
荒井東二百七十一丁目
荒井東二百七十二丁目
荒井東二百七十三丁目
荒井東二百七十四丁目
荒井東二百七十五丁目
荒井東二百七十六丁目
荒井東二百七十七丁目
荒井東二百七十八丁目
荒井東二百七十九丁目
荒井東二百八十丁目
荒井東二百八十一丁目
荒井東二百八十二丁目
荒井東二百八十三丁目
荒井東二百八十四丁目
荒井東二百八十五丁目
荒井東二百八十六丁目
荒井東二百八十七丁目
荒井東二百八十八丁目
荒井東二百八十九丁目
荒井東二百九十丁目
荒井東二百九十一丁目
荒井東二百九十二丁目
荒井東二百九十三丁目
荒井東二百九十四丁目
荒井東二百九十五丁目
荒井東二百九十六丁目
荒井東二百九十七丁目
荒井東二百九十八丁目
荒井東二百九十九丁目
荒井東三百丁目
荒井東三百一丁目
荒井東三百二丁目
荒井東三百三丁目
荒井東三百四丁目
荒井東三百五丁目
荒井東三百六丁目
荒井東三百七丁目
荒井東三百八丁目
荒井東三百九丁目
荒井東三百十丁目
荒井東三百十一丁目
荒井東三百十二丁目
荒井東三百十三丁目
荒井東三百十四丁目
荒井東三百十五丁目
荒井東三百十六丁目
荒井東三百十七丁目
荒井東三百十八丁目
荒井東三百十九丁目
荒井東三百二十丁目
荒井東三百二十一丁目
荒井東三百二十二丁目
荒井東三百二十三丁目
荒井東三百二十四丁目
荒井東三百二十五丁目
荒井東三百二十六丁目
荒井東三百二十七丁目
荒井東三百二十八丁目
荒井東三百二十九丁目
荒井東三百三十丁目
荒井東三百三十一丁目
荒井東三百三十二丁目
荒井東三百三十三丁目
荒井東三百三十四丁目
荒井東三百三十五丁目
荒井東三百三十六丁目
荒井東三百三十七丁目
荒井東三百三十八丁目
荒井東三百三十九丁目
荒井東三百四十丁目
荒井東三百四十一丁目
荒井東三百四十二丁目
荒井東三百四十三丁目
荒井東三百四十四丁目
荒井東三百四十五丁目
荒井東三百四十六丁目
荒井東三百四十七丁目
荒井東三百四十八丁目
荒井東三百四十九丁目
荒井東三百五十丁目
荒井東三百五十一丁目
荒井東三百五十二丁目
荒井東三百五十三丁目
荒井東三百五十四丁目
荒井東三百五十五丁目
荒井東三百五十六丁目
荒井東三百五十七丁目
荒井東三百五十八丁目
荒井東三百五十九丁目
荒井東三百六十丁目
荒井東三百六十一丁目
荒井東三百六十二丁目
荒井東三百六十三丁目
荒井東三百六十四丁目
荒井東三百六十五丁目
荒井東三百六十六丁目
荒井東三百六十七丁目
荒井東三百六十八丁目
荒井東三百六十九丁目
荒井東三百七十丁目
荒井東三百七十一丁目
荒井東三百七十二丁目
荒井東三百七十三丁目
荒井東三百七十四丁目
荒井東三百七十五丁目
荒井東三百七十六丁目
荒井東三百七十七丁目
荒井東三百七十八丁目
荒井東三百七十九丁目
荒井東三百八十丁目
荒井東三百八十一丁目
荒井東三百八十二丁目
荒井東三百八十三丁目
荒井東三百八十四丁目
荒井東三百八十五丁目
荒井東三百八十六丁目
荒井東三百八十七丁目
荒井東三百八十八丁目
荒井東三百八十九丁目
荒井東三百九十丁目
荒井東三百九十一丁目
荒井東三百九十二丁目
荒井東三百九十三丁目
荒井東三百九十四丁目
荒井東三百九十五丁目
荒井東三百九十六丁目
荒井東三百九十七丁目
荒井東三百九十八丁目
荒井東三百九十九丁目
荒井東四百丁目
荒井東四百一丁目
荒井東四百二丁目
荒井東四百三丁目
荒井東四百四丁目
荒井東四百五丁目
荒井東四百六丁目
荒井東四百七丁目
荒井東四百八丁目
荒井東四百九丁目
荒井東四百十丁目
荒井東四百十一丁目
荒井東四百十二丁目
荒井東四百十三丁目
荒井東四百十四丁目
荒井東四百十五丁目
荒井東四百十六丁目
荒井東四百十七丁目
荒井東四百十八丁目
荒井東四百十九丁目
荒井東四百二十丁目
荒井東四百二十一丁目
荒井東四百二十二丁目
荒井東四百二十三丁目
荒井東四百二十四丁目
荒井東四百二十五丁目
荒井東四百二十六丁目
荒井東四百二十七丁目
荒井東四百二十八丁目
荒井東四百二十九丁目
荒井東四百三十丁目
荒井東四百三十一丁目
荒井東四百三十二丁目
荒井東四百三十三丁目
荒井東四百三十四丁目
荒井東四百三十五丁目
荒井東四百三十六丁目
荒井東四百三十七丁目
荒井東四百三十八丁目
荒井東四百三十九丁目
荒井東四百四十丁目
荒井東四百四十一丁目
荒井東四百四十二丁目
荒井東四百四十三丁目
荒井東四百四十四丁目
荒井東四百四十五丁目
荒井東四百四十六丁目
荒井東四百四十七丁目
荒井東四百四十八丁目
荒井東四百四十九丁目
荒井東四百五十丁目
荒井東四百五十一丁目
荒井東四百五十二丁目
荒井東四百五十三丁目
荒井東四百五十四丁目
荒井東四百五十五丁目
荒井東四百五十六丁目
荒井東四百五十七丁目
荒井東四百五十八丁目
荒井東四百五十九丁目
荒井東四百六十丁目
荒井東四百六十一丁目
荒井東四百六十二丁目
荒井東四百六十三丁目
荒井東四百六十四丁目
荒井東四百六十五丁目
荒井東四百六十六丁目
荒井東四百六十七丁目
荒井東四百六十八丁目
荒井東四百六十九丁目
荒井東四百七十丁目
荒井東四百七十一丁目
荒井東四百七十二丁目
荒井東四百七十三丁目
荒井東四百七十四丁目
荒井東四百七十五丁目
荒井東四百七十六丁目
荒井東四百七十七丁目
荒井東四百七十八丁目
荒井東四百七十九丁目
荒井東四百八十丁目
荒井東四百八十一丁目
荒井東四百八十二丁目
荒井東四百八十三丁目
荒井東四百八十四丁目
荒井東四百八十五丁目
荒井東四百八十六丁目
荒井東四百八十七丁目
荒井東四百八十八丁目
荒井東四百八十九丁目
荒井東四百九十丁目
荒井東四百九十一丁目
荒井東四百九十二丁目
荒井東四百九十三丁目
荒井東四百九十四丁目
荒井東四百九十五丁目
荒井東四百九十六丁目
荒井東四百九十七丁目
荒井東四百九十八丁目
荒井東四百九十九丁目
荒井東五百丁目
荒井東五百一丁目
荒井東五百二丁目
荒井東五百三丁目
荒井東五百四丁目
荒井東五百五丁目
荒井東五百六丁目
荒井東五百七丁目
荒井東五百八丁目
荒井東五百九丁目
荒井東五百十丁目
荒井東五百十一丁目
荒井東五百十二丁目
荒井東五百十三丁目
荒井東五百十四丁目
荒井東五百十五丁目
荒井東五百十六丁目
荒井東五百十七丁目
荒井東五百十八丁目
荒井東五百十九丁目
荒井東五百二十丁目
荒井東五百二十一丁目
荒井東五百二十二丁目
荒井東五百二十三丁目
荒井東五百二十四丁目
荒井東五百二十五丁目
荒井東五百二十六丁目
荒井東五百二十七丁目
荒井東五百二十八丁目
荒井東五百二十九丁目
荒井東五百三十丁目
荒井東五百三十一丁目
荒井東五百三十二丁目
荒井東五百三十三丁目
荒井東五百三十四丁目
荒井東五百三十五丁目
荒井東五百三十六丁目
荒井東五百三十七丁目
荒井東五百三十八丁目
荒井東五百三十九丁目
荒井東五百四十丁目
荒井東五百四十一丁目
荒井東五百四十二丁目
荒井東五百四十三丁目
荒井東五百四十四丁目
荒井東五百四十五丁目
荒井東五百四十六丁目
荒井東五百四十七丁目
荒井東五百四十八丁目
荒井東五百四十九丁目
荒井東五百五十丁目
荒井東五百五十一丁目
荒井東五百五十二丁目
荒井東五百五十三丁目
荒井東五百五十四丁目
荒井東五百五十五丁目
荒井東五百五十六丁目
荒井東五百五十七丁目
荒井東五百五十八丁目
荒井東五百五十九丁目
荒井東五百六十丁目
荒井東五百六十一丁目
荒井東五百六十二丁目
荒井東五百六十三丁目
荒井東五百六十四丁目
荒井東五百六十五丁目
荒井東五百六十六丁目
荒井東五百六十七丁目
荒井東五百六十八丁目
荒井東五百六十九丁目
荒井東五百七十丁目
荒井東五百七十一丁目
荒井東五百七十二丁目
荒井東五百七十三丁目
荒井東五百七十四丁目
荒井東五百七十五丁目
荒井東五百七十六丁目
荒井東五百七十七丁目
荒井東五百七十八丁目
荒井東五百七十九丁目
荒井東五百八十丁目
荒井東五百八十一丁目
荒井東五百八十二丁目
荒井東五百八十三丁目
荒井東五百八十四丁目
荒井東五百八十五丁目
荒井東五百八十六丁目
荒井東五百八十七丁目
荒井東五百八十八丁目
荒井東五百八十九丁目
荒井東五百九十丁目
荒井東五百九十一丁目
荒井東五百九十二丁目
荒井東五百九十三丁目
荒井東五百九十四丁目
荒井東五百九十五丁目
荒井東五百九十六丁目
荒井東五百九十七丁目
荒井東五百九十八丁目
荒井東五百九十九丁目
荒井東六百丁目
荒井東六百一丁目
荒井東六百二丁目
荒井東六百三丁目
荒井東六百四丁目
荒井東六百五丁目
荒井東六百六丁目
荒井東六百七丁目
荒井東六百八丁目
荒井東六百九丁目
荒井東六百十丁目
荒井東六百十一丁目
荒井東六百十二丁目
荒井東六百十三丁目
荒井東六百十四丁目
荒井東六百十五丁目
荒井東六百十六丁目
荒井東六百十七丁目
荒井東六百十八丁目
荒井東六百十九丁目
荒井東六百二十丁目
荒井東六百二十一丁目
荒井東六百二十二丁目
荒井東六百二十三丁目
荒井東六百二十四丁目
荒井東六百二十五丁目
荒井東六百二十六丁目
荒井東六百二十七丁目
荒井東六百二十八丁目
荒井東六百二十九丁目
荒井東六百三十丁目
荒井東六百三十一丁目
荒井東六百三十二丁目
荒井東六百三十三丁目
荒井東六百三十四丁目
荒井東六百三十五丁目
荒井東六百三十六丁目
荒井東六百三十七丁目
荒井東六百三十八丁目
荒井東六百三十九丁目
荒井東六百四十丁目
荒井東六百四十一丁目
荒井東六百四十二丁目
荒井東六百四十三丁目
荒井東六百四十四丁目
荒井東六百四十五丁目
荒井東六百四十六丁目
荒井東六百四十七丁目
荒井東六百四十八丁目
荒井東六百四十九丁目
荒井東六百五十丁目
荒井東六百五十一丁目
荒井東六百五十二丁目
荒井東六百五十三丁目
荒井東六百五十四丁目
荒井東六百五十五丁目
荒井東六百五十六丁目
荒井東六百五十七丁目
荒井東六百五十八丁目
荒井東六百五十九丁目
荒井東六百六十丁目
荒井東六百六十一丁目
荒井東六百六十二丁目
荒井東六百六十三丁目
荒井東六百六十四丁目
荒井東六百六十五丁目
荒井東六百六十六丁目
荒井東六百六十七丁目
荒井東六百六十八丁目
荒井東六百六十九丁目
荒井東六百七十丁目
荒井東六百七十一丁目
荒井東六百七十二丁目
荒井東六百七十三丁目
荒井東六百七十四丁目
荒井東六百七十五丁目
荒井東六百七十六丁目
荒井東六百七十七丁目
荒井東六百七十八丁目
荒井東六百七十九丁目
荒井東六百八十丁目
荒井東六百八十一丁目
荒井東六百八十二丁目
荒井東六百八十三丁目
荒井東六百八十四丁目
荒井東六百八十五丁目
荒井東六百八十六丁目
荒井東六百八十七丁目
荒井東六百八十八丁目
荒井東六百八十九丁目
荒井東六百九十丁目
荒井東六百九十一丁目
荒井東六百九十二丁目
荒井東六百九十三丁目
荒井東六百九十四丁目
荒井東六百九十五丁目
荒井東六百九十六丁目
荒井東六百九十七丁目
荒井東六百九十八丁目
荒井東六百九十九丁目
荒井東七百丁目
荒井東七百一丁目
荒井東七百二丁目
荒井東七百三丁目
荒井東七百四丁目
荒井東七百五丁目
荒井東七百六丁目
荒井東七百七丁目
荒井東七百八丁目
荒井東七百九丁目
荒井東七百十丁目
荒井東七百十一丁目
荒井東七百十二丁目
荒井東七百十三丁目
荒井東七百十四丁目
荒井東七百十五丁目
荒井東七百十六丁目
荒井東七百十七丁目
荒井東七百十八丁目
荒井東七百十九丁目
荒井東七百二十丁目
荒井東七百二十一丁目
荒井東七百二十二丁目
荒井東七百二十三丁目
荒井東七百二十四丁目
荒井東七百二十五丁目
荒井東七百二十六丁目
荒井東七百二十七丁目
荒井東七百二十八丁目
荒井東七百二十九丁目
荒井東七百三十丁目
荒井東七百三十一丁目
荒井東七百三十二丁目
荒井東七百三十三丁目
荒井東七百三十四丁目
荒井東七百三十五丁目
荒井東七百三十六丁目
荒井東七百三十七丁目
荒井東七百三十八丁目
荒井東七百三十九丁目
荒井東七百四十丁目
荒井東七百四十一丁目
荒井東七百四十二丁目
荒井東七百四十三丁目
荒井東七百四十四丁目
荒井東七百四十五丁目
荒井東七百四十六丁目
荒井東七百四十七丁目
荒井東七百四十八丁目
荒井東七百四十九丁目
荒井東七百五十丁目
荒井東七百五十一丁目
荒井東七百五十二丁目
荒井東七百五十三丁目
荒井東七百五十四丁目
荒井東七百五十五丁目
荒井東七百五十六丁目
荒井東七百五十七丁目
荒井東七百五十八丁目
荒井東七百五十九丁目
荒井東七百六十丁目
荒井東七百六十一丁目
荒井東七百六十二丁目
荒井東七百六十三丁目
荒井東七百六十四丁目
荒井東七百六十五丁目
荒井東七百六十六丁目
荒井東七百六十七丁目
荒井東七百六十八丁目
荒井東七百六十九丁目
荒井東七百七十丁目
荒井東七百七十一丁目
荒井東七百七十二丁目
荒井東七百七十三丁目
荒井東七百七十四丁目
荒井東七百七十五丁目
荒井東七百七十六丁目
荒井東七百七十七丁目
荒井東七百七十八丁目
荒井東七百七十九丁目
荒井東七百八十丁目
荒井東七百八十一丁目
荒井東七百八十二丁目
荒井東七百八十三丁目
荒井東七百八十四丁目
荒井東七百八十五丁目
荒井東七百八十六丁目
荒井東七百八十七丁目
荒井東七百八十八丁目
荒井東七百八十九丁目
荒井東七百九十丁目
荒井東七百九十一丁目
荒井東七百九十二丁目
荒井東七百九十三丁目
荒井東七百九十四丁目
荒井東七百九十五丁目
荒井東七百九十六丁目
荒井東七百九十七丁目
荒井東七百九十八丁目
荒井東七百九十九丁目
荒井東八百丁目
荒井東八百一丁目
荒井東八百二丁目
荒井東八百三丁目
荒井東八百四丁目
荒井東八百五丁目
荒井東八百六丁目
荒井東八百七丁目
荒井東八百八丁目
荒井東八百九丁目
荒井東八百十丁目
荒井東八百十一丁目
荒井東八百十二丁目
荒井東八百十三丁目
荒井東八百十四丁目
荒井東八百十五丁目
荒井東八百十六丁目
荒井東八百十七丁目
荒井東八百十八丁目
荒井東八百十九丁目
荒井東八百二十丁目
荒井東八百二十一丁目
荒井東八百二十二丁目
荒井東八百二十三丁目
荒井東八百二十四丁目
荒井東八百二十五丁目
荒井東八百二十六丁目
荒井東八百二十七丁目
荒井東八百二十八丁目
荒井東八百二十九丁目
荒井東八百三十丁目
荒井東八百三十一丁目
荒井東八百三十二丁目
荒井東八百三十三丁目
荒井東八百三十四丁目
荒井東八百三十五丁目
荒井東八百三十六丁目
荒井東八百三十七丁目
荒井東八百三十八丁目
荒井東八百三十九丁目
荒井東八百四十丁目
荒井東八百四十一丁目
荒井東八百四十二丁目
荒井東八百四十三丁目
荒井東八百四十四丁目
荒井東八百四十五丁目
荒井東八百四十六丁目
荒井東八百四十七丁目
荒井東八百四十八丁目
荒井東八百四十九丁目
荒井東八百五十丁目
荒井東八百五十一丁目
荒井東八百五十二丁目
荒井東八百五十三丁目
荒井東八百五十四丁目
荒井東八百五十五丁目
荒井東八百五十六丁目
荒井東八百五十七丁目
荒井東八百五十八丁目
荒井東八百五十九丁目
荒井東八百六十丁目
荒井東八百六十一丁目
荒井東八百六十二丁目
荒井東八百六十三丁目
荒井東八百六十四丁目
荒井東八百六十五丁目
荒井東八百六十六丁目
荒井東八百六十七丁目
荒井東八百六十八丁目
荒井東八百六十九丁目
荒井東八百七十丁目
荒井東八百七十一丁目
荒井東八百七十二丁目
荒井東八百七十三丁目
荒井東八百七十四丁目
荒井東八百七十五丁目
荒井東八百七十六丁目
荒井東八百七十七丁目
荒井東八百七十八丁目
荒井東八百七十九丁目
荒井東八百八十丁目
荒井東八百八十一丁目
荒井東八百八十二丁目
荒井東八百八十三丁目
荒井東八百八十四丁目
荒井東八百八十五丁目
荒井東八百八十六丁目
荒井東八百八十七丁目
荒井東八百八十八丁目
荒井東八百八十九丁目
荒井東八百九十丁目
荒井東八百九十一丁目
荒井東八百九十二丁目
荒井東八百九十三丁目
荒井東八百九十四丁目
荒井東八百九十五丁目
荒井東八百九十六丁目
荒井東八百九十七丁目
荒井東八百九十八丁目
荒井東八百九十九丁目
荒井東九百丁目
荒井東九百一丁目
荒井東九百二丁目
荒井東九百三丁目
荒井東九百四丁目
荒井東九百五丁目
荒井東九百六丁目
荒井東九百七丁目
荒井東九百八丁目
荒井東九百九丁目
荒井東九百十丁目
荒井東九百十一丁目
荒井東九百十二丁目
荒井東九百十三丁目
荒井東九百十四丁目
荒井東九百十五丁目
荒井東九百十六丁目
荒井東九百十七丁目
荒井東九百十八丁目
荒井東九百十九丁目
荒井東九百二十丁目
荒井東九百二十一丁目
荒井東九百二十二丁目
荒井東九百二十三丁目
荒井東九百二十四丁目
荒井東九百二十五丁目
荒井東九百二十六丁目
荒井東九百二十七丁目
荒井東九百二十八丁目
荒井東九百二十九丁目
荒井東九百三十丁目
荒井東九百三十一丁目
荒井東九百三十二丁目
荒井東九百三十三丁目
荒井東九百三十四丁目
荒井東九百三十五丁目
荒井東九百三十六丁目
荒井東九百三十七丁目
荒井東九百三十八丁目
荒井東九百三十九丁目
荒井東九百四十丁目
荒井東九百四十一丁目
荒井東九百四十二丁目
荒井東九百四十三丁目
荒井東九百四十四丁目
荒井東九百四十五丁目
荒井東九百四十六丁目
荒井東九百四十七丁目
荒井東九百四十八丁目
荒井東九百四十九丁目
荒井東九百五十丁目
荒井東九百五十一丁目
荒井東九百五十二丁目
荒井東九百五十三丁目
荒井東九百五十四丁目
荒井東九百五十五丁目
荒井東九百五十六丁目
荒井東九百五十七丁目
荒井東九百五十八丁目
荒井東九百五十九丁目
荒井東九百六十丁目
荒井東九百六十一丁目
荒井東九百六十二丁目
荒井東九百六十三丁目
荒井東九百六十四丁目
荒井東九百六十五丁目
荒井東九百六十六丁目
荒井東九百六十七丁目
荒井東九百六十八丁目
荒井東九百六十九丁目
荒井東九百七十丁目
荒井東九百七十一丁目
荒井東九百七十二丁目
荒井東九百七十三丁目
荒井東九百七十四丁目
荒井東九百七十五丁目
荒井東九百七十六丁目
荒井東九百七十七丁目
荒井東九百七十八丁目
荒井東九百七十九丁目
荒井東九百八十丁目
荒井東九百八十一丁目
荒井東九百八十二丁目
荒井東九百八十三丁目
荒井東九百八十四丁目
荒井東九百八十五丁目
荒井東九百八十六丁目
荒井東九百八十七丁目
荒井東九百八十八丁目
荒井東九百八十九丁目
荒井東九百九十丁目
荒井東九百九十一丁目
荒井東九百九十二丁目
荒井東九百九十三丁目
荒井東九百九十四丁目
荒井東九百九十五丁目
荒井東九百九十六丁目
荒井東九百九十七丁目
荒井東九百九十八丁目
荒井東九百九十九丁目
荒井東千丁目
荒井東千一丁目
荒井東千二丁目
荒井東千三丁目
荒井東千四丁目
荒井東千五丁目
荒井東千六丁目
荒井東千七丁目
荒井東千八丁目
荒井東千九丁目
荒井東千十丁目
荒井東千十一丁目
荒井東千十二丁目
荒井東千十三丁目
荒井東千十四丁目
荒井東千十五丁目
荒井東千十六丁目
荒井東千十七丁目
荒井東千十八丁目
荒井東千十九丁目
荒井東千二十丁目
荒井東千二十一丁目
荒井東千二十二丁目
荒井東千二十三丁目
荒井東千二十四丁目
荒井東千二十五丁目
荒井東千二十六丁目
荒井東千二十七丁目
荒井東千二十八丁目
荒井東千二十九丁目
荒井東千三十丁目
荒井東千三十一丁目
荒井東千三十二丁目
荒井東千三十三丁目
荒井東千三十四丁目
荒井東千三十五丁目
荒井東千三十六丁目
荒井東千三十七丁目
荒井東千三十八丁目
荒井東千三十九丁目
荒井東千四十丁目
荒井東千四十一丁目
荒井東千四十二丁目
荒井東千四十三丁目
荒井東千四十四丁目
荒井東千四十五丁目
荒井東千四十六丁目
荒井東千四十七丁目
荒井東千四十八丁目
荒井東千四十九丁目
荒井東千五十丁目
荒井東千五十一丁目
荒井東千五十二丁目
荒井東千五十三丁目
荒井東千五十四丁目
荒井東千五十五丁目
荒井東千五十六丁目
荒井東千五十七丁目
荒井東千五十八丁目
荒井東千五十九丁目
荒井東千六十丁目
荒井東千六十一丁目
荒井東千六十二丁目
荒井東千六十三丁目
荒井東千六十四丁目
荒井東千六十五丁目
荒井東千六十六丁目
荒井東千六十七丁目
荒井東千六十八丁目
荒井東千六十九丁目
荒井東千七十丁目
荒井東千七十一丁目
荒井東千七十二丁目
荒井東千七十三丁目
荒井東千七十四丁目
荒井東千七十五丁目
荒井東千七十六丁目
荒井東千七十七丁目
荒井東千七十八丁目
荒井東千七十九丁目
荒井東千八十丁目
荒井東千八十一丁目
荒井東千八十二丁目
荒井東千八十三丁目
荒井東千八十四丁目
荒井東千八十五丁目
荒井東千八十六丁目
荒井東千八十七丁目
荒井東千八十八丁目
荒井東千八十九丁目
荒井東千九十丁目
荒井東千九十一丁目
荒井東千九十二丁目
荒井東千九十三丁目
荒井東千九十四丁目
荒井東千九十五丁目
荒井東千九十六丁目
荒井東千九十七丁目
荒井東千九十八丁目
荒井東千九十九丁目
荒井東二千丁目
荒井東二千一丁目
荒井東二千二丁目
荒井東二千三丁目
荒井東二千四丁目
荒井東二千五丁目
荒井東二千六丁目
荒井東二千七丁目
荒井東二千八丁目
荒井東二千九丁目
荒井東二千十丁目
荒井東二千十一丁目
荒井東二千十二丁目
荒井東二千十三丁目
荒井東二千十四丁目
荒井東二千十五丁目
荒井東二千十六丁目
荒井東二千十七丁目
荒井東二千十八丁目
荒井東二千十九丁目
荒井東二千二十丁目
荒井東二千二十一丁目
荒井東二千二十二丁目
荒井東二千二十三丁目
荒井東二千二十四丁目
荒井東二千二十五丁目
荒井東二千二十六丁目
荒井東二千二十七丁目
荒井東二千二十八丁目
荒井東二千二十九丁目
荒井東二千三十丁目
荒井東二千三十一丁目
荒井東二千三十二丁目
荒井東二千三十三丁目
荒井東二千三十四丁目
荒井東二千三十五丁目
荒井東二千三十六丁目
荒井東二千三十七丁目
荒井東二千三十八丁目
荒井東二千三十九丁目
荒井東二千四十丁目
荒井東二千四十一丁目
荒井東二千四十二丁目
荒井東二千四十三丁目
荒井東二千四十四丁目
荒井東二千四十五丁目
荒井東二千四十六丁目
荒井東二千四十七丁目
荒井東二千四十八丁目
荒井東二千四十九丁目
荒井東二千五十丁目
荒井東二千五十一丁目
荒井東二千五十二丁目
荒井東二千五十三丁目
荒井東二千五十四丁目
荒井東二千五十五丁目
荒井東二千五十六丁目
荒井東二千五十七丁目
荒井東二千五十八丁目
荒井東二千五十九丁目
荒井東二千六十丁目
荒井東二千六十一丁目
荒井東二千六十二丁目
荒井東二千六十三丁目
荒井東二千六十四丁目
荒井東二千六十五丁目
荒井東二千六十六丁目
荒井東二千六十七丁目
荒井東二千六十八丁目
荒井東二千六十九丁目
荒井東二千七十丁目
荒井東二千七十一丁目
荒井東二千七十二丁目
荒井東二千七十三丁目
荒井東二千七十四丁目
荒井東二千七十五丁目
荒井東二千七十六丁目
荒井東二千七十七丁目
荒井東二千七十八丁目
荒井東二千七十九丁目
荒井東二千八十丁目
荒井東二千八十一丁目
荒井東二千八十二丁目
荒井東二千八十三丁目
荒井東二千八十四丁目
荒井東二千八十五丁目
荒井東二千八十六丁目
荒井東二千八十七丁目
荒井東二千八十八丁目
荒井東二千八十九丁目
荒井東二千九十丁目
荒井東二千九十一丁目
荒井東二千九十二丁目
荒井東二千九十三丁目
荒井東二千九十四丁目
荒井東二千九十五丁目
荒井東二千九十六丁目
荒井東二千九十七丁目
荒井東二千九十八丁目
荒井東二千九十九丁目
荒井東三千丁目
荒井東三千一丁目
荒井東三千二丁目
荒井東三千三丁目
荒井東三千四丁目
荒井東三千五丁目
荒井東三千六丁目
荒井東三千七丁目
荒井東三千八丁目
荒井東三千九丁目
荒井東三千十丁目
荒井東三千十一丁目
荒井東三千十二丁目
荒井東三千十三丁目
荒井東三千十四丁目
荒井東三千十五丁目
荒井東三千十六丁目
荒井東三千十七丁目
荒井東三千十八丁目
荒井東三千十九丁目
荒井東三千二十丁目
荒井東三千二十一丁目
荒井東三千二十二丁目
荒井東三千二十三丁目
荒井東三千二十四丁目
荒井東三千二十五丁目
荒井東三千二十六丁目
荒井東三千二十七丁目
荒井東三千二十八丁目
荒井東三千二十九丁目
荒井東三千三十丁目
荒井東三千三十一丁目
荒井東三千三十二丁目
荒井東三千三十三丁目
荒井東三千三十四丁目
荒井東三千三十五丁目
荒井東三千三十六丁目
荒井東三千三十七丁目
荒井東三千三十八丁目
荒井東三千三十九丁目
荒井東三千四十丁目
荒井東三千四十一丁目
荒井東三千四十二丁目
荒井東三千四十三丁目
荒井東三千四十四丁目
荒井東三千四十五丁目
荒井東三千四十六丁目
荒井東三千四十七丁目
荒井東三千四十八丁目
荒井東三千四十九丁目
荒井東三千五十丁目
荒井東三千五十一丁目
荒井東三千五十二丁目
荒井東三千五十三丁目
荒井東三千五十四丁目
荒井東三千五十五丁目
荒井東三千五十六丁目
荒井東三千五十七丁目
荒井東三千五十八丁目
荒井東三千五十九丁目
荒井東三千六十丁目
荒井東三千六十一丁目
荒井東三千六十二丁目
荒井東三千六十三丁目
荒井東三千六十四丁目
荒井東三千六十五丁目
荒井東三千六十六丁目
荒井東三千六十七丁

存在すると考えられている。古墳時代では、伊古田遺跡で前期の住居跡が検出され、富沢遺跡では中期の水田跡、下ノ内遺跡、泉崎浦遺跡で住居跡が検出されている。古墳は中期後半から後期のものが多く存在している。兜塚古墳、砂押古墳、金洗沢古墳などが長町－利府線に沿って並んでおり、既に削平された一塚古墳、二塚古墳、裏町古墳も含めた6基が並んで存在していた。また三神峯古墳群、教塚古墳、金岡八幡古墳などがある。その他にも埴輪の採集される遺跡があり、削平された古墳はさらに多数存在していたものと考えられる。これらの古墳は散在するものがほとんどであり群集しているものは大野田古墳群の他にはみられない。また、大野田古墳群については、1976年から行われた六反田遺跡の発掘調査を契機として、五反田古墳、五反田石棺墓、五反田木棺墓が検出され、その東に春日社古墳、鳥居塚古墳、大野田1～4号墳が近接して群在し、さらに王の壇古墳、大野田5号墳がある。(註1) その範囲については、西に近接する伊古田遺跡、東に接する長町清水遺跡からも埴輪が採集されることを考えるとそれぞれの遺跡間全体に広がりをもつものと考えられる。この時期の窯跡には埴輪窯の富沢窯跡と須恵器窯の金山窯跡があり、後期から末期にかけての須恵器窯の土手内窯跡がある。古墳時代末期から奈良時代にかけては横穴墓の造営が盛んに行なわれるようになってくる。青葉山丘陵には大年寺横穴群、宗禅寺横穴群、茂ヶ崎横穴群、二ッ沢横穴群、土手内横穴群がある。一方、名取川と広瀬川の合流点の西側には、多賀城以前の官衙跡である郡山遺跡とその付属寺院である郡山廃寺跡がある。奈良、平安時代には山口遺跡で集落跡と水田跡が、富沢遺跡で水田跡、下ノ内遺跡、六反田遺跡、下ノ内浦遺跡等で集落跡が検出されている。また富沢遺跡では中・近世まで水田が営まれている。中世から近世には自然堤防上や丘陵上に館が作られるようになる。以上のように大野田地区周辺には、旧石器時代から現代に至るまで、連綿と人間の生活の痕跡が残されている。

註1)　大野田5号墳は都市計画道路「川内－柳生線」関連遺跡の発掘調査によって確認された古墳で、現在調査は継続中である。円筒埴輪及び朝顔形埴輪が出土している。王の壇古墳については東半部を調査し、円筒埴輪が出土している。

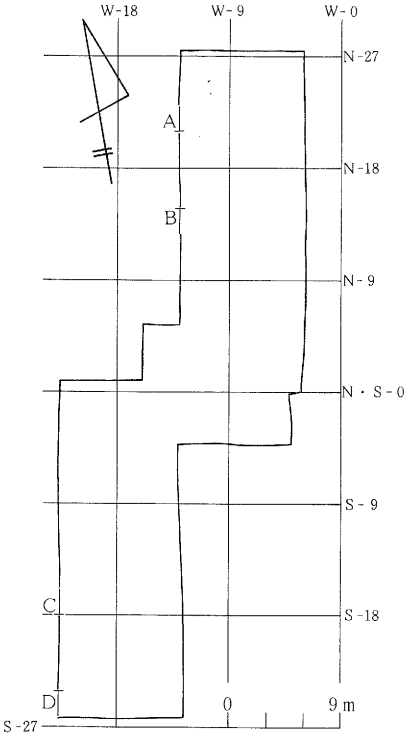
Ⅳ　調査の方法と経過

開発請申地は、大野田古墳群の従前よりの推定範囲の西端の境界線に接して位置しており、試掘調査の結果、全面に盛土が30～50cmあり地表から60cm～80cmで遺構が検出され、さらに下層にも遺構が確認された。また当該地は萩野工務店の資材置場として利用されており、所々に撹乱が認められた。

本調査では、建築物の中央部東隅を原点として、建築物の東側ラインを基準として3ｍ×3ｍのグリットを設定し、このラインより北を北区、南を南区とした。調査対象面積は643㎡であ

る。試掘調査において、第2トレンチは資材置場をさけて設定したために、建築部分よりやや両側にずれていた。このため調査区の北区を試掘第2トレンチをとりこむような形に約593m²の範囲に設定した。試掘結果より、重機で盛土及び基本層5層直上まで排土し、人力によって遺構確認作業を行なった。

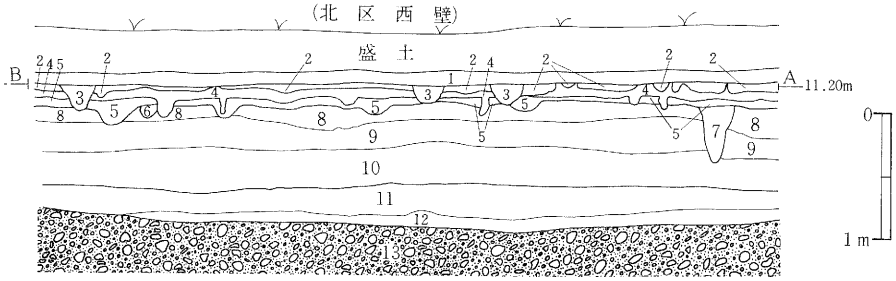
検出された遺構は、5層上面で溝跡、小溝状遺構群が検出された。6層上面で竪穴遺構、土坑、溝跡、小溝状遺構群、ピットが検出された。6層上部以下では、遺構、遺物は検出されなかった。調査中実測図は縮尺1/20の平面図、土層断面図を作成した。遺構、遺物が検出されなかった6層上部以下については南、北2ヶ所の深掘り区を設定して礫層上面まで掘り下げた。調査は12月26日に終了し、12月27日には調査区の埋め戻しまで終了した。



第3図　グリット配置図

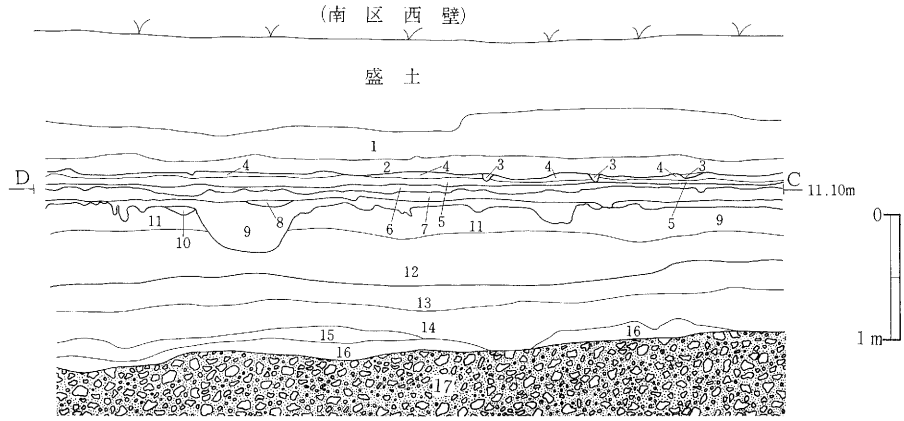
V　基本層位

基本層位は盛土以前の水田あるいは畑耕作土のⅠ層よりⅧ層までの大別8層確認された。これらはさらに14層に細分される。Ⅰ層は盛土以前の耕作土で、南区では上部が畑、下部が水田耕作土、北区は水田耕作土である。Ⅰ層下部から下層の上部にかけて酸化鉄の集積が顕著にみられる。Ⅱ層は南側では確認されるが、北側では削平のためかほとんどみられない。Ⅲ層は灰黄褐色の粘土質シルト～シルト質粘土層であるが、調査区中央部付近では黒褐色を呈する部分もある。断面からはⅢ層上面から掘り込まれた落ち込みが観察される部分もみられた。Ⅳ層は黄褐色～にぶい黄褐色の粘土質シルト層で、北区では上部で部分的に灰白色火山灰が斑に含まれる。Ⅴ層は暗褐色のシルト～粘土質シルト層で上部にマンガンを層状に含んでおり上面は堅くしまっている。Ⅵ層は3層に細分される。褐色～にぶい黄褐色シルト層で南区の南半部、北区の北半部すなわち小溝状遺構群の分布範囲では上部が撹拌されて層が乱れている。Ⅶ層は4層に細分される褐色系のシルト質砂～砂層で、下層にいくに従って砂粒が大きくなる。Ⅷ層は砂礫層である。今回の調査では本遺跡の北側及び西側に隣接する六反田遺跡、伊古田遺跡で確認されている縄文時代の遺物包含層、遺構面は検出されなかった。



北区西壁セクション土層註記表

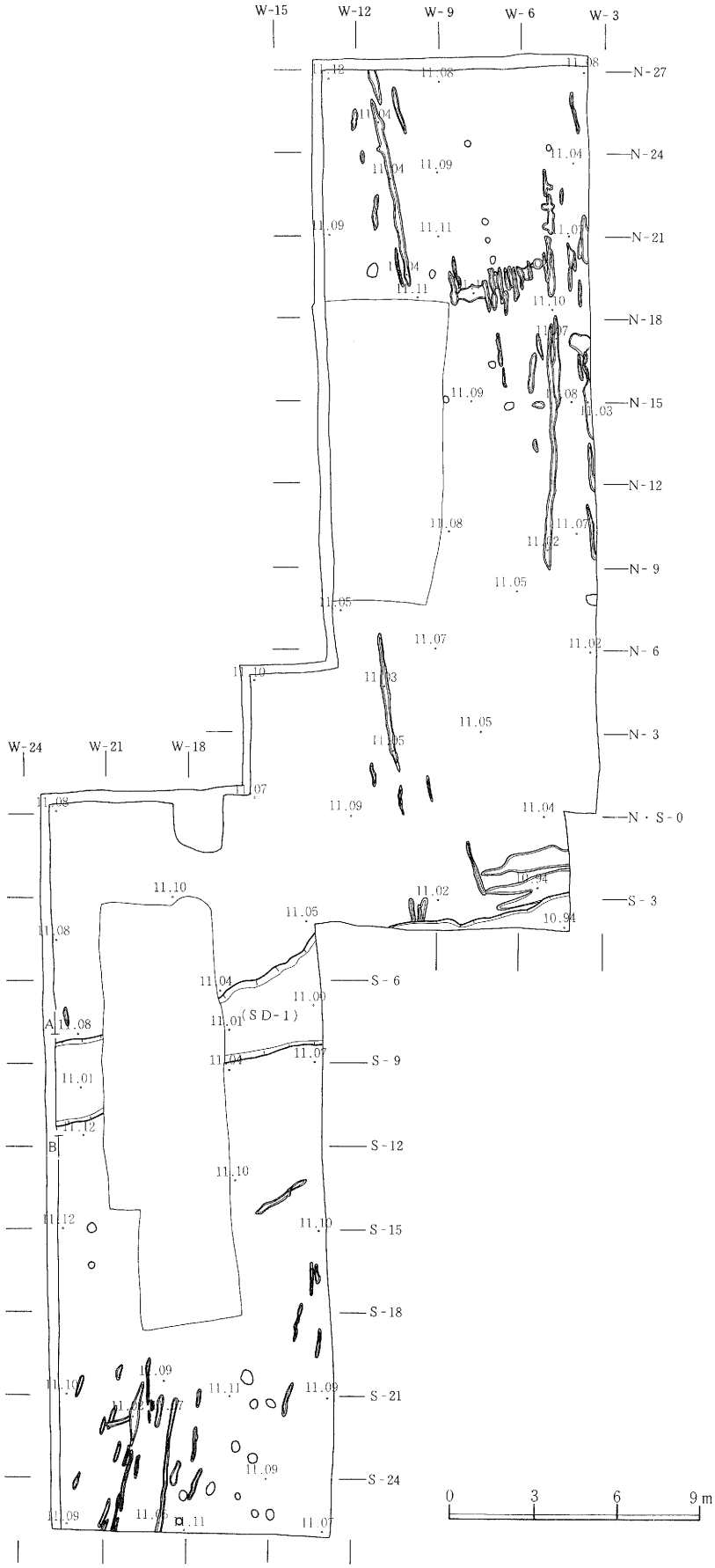
層位	層No	土　色	土　性	備　考
Ⅰ	1	灰オリーブ 7.5Y 5/2	粘土質シルト	グライ。旧水田耕作土。下部に酸化鉄多く含む。
Ⅲ	2	灰　黄　褐10YR 5/2	粘土質シルト	酸化鉄、マンガン含む。
Ⅳ	3	灰　5Y 4/1	シ　ル　ト	酸化鉄、マンガン含む。Ⅲ層上面より掘り込まれた遺構の堆積土。
	4	黄　褐 2.5Y 5/4	粘土質シルト	酸化鉄、マンガン、炭化物粒含む。
Ⅴ	5	暗　褐10YR 3/4	シ　ル　ト	炭化物含む。上面にマンガンを層状に含む。
Ⅵ	6	褐　10YR 4/4	シ　ル　ト	2.5Y 5/2暗灰黄シルトを含む。
	7	褐　10YR 4/4	シルト質粘土	10YR 5/6黄褐粘土を霜降り状に含む。
	8	にぶい黄褐10YR 5/3 褐10YR 4/4	シ　ル　ト	粘性強い。上部が攪拌されている。
	9	褐　10YR 4/6	砂質シルト	2.5Y 5/4黄褐粘土、マンガンを霜降り状に含む。粘性強い。
	10	褐　10YR 4/6	シルト質砂	2.5Y 5/4黄褐粘土を霜降り状に含む。マンガンを含まない。
Ⅶ	11	暗　褐10YR 3/4	砂	2.5Y 5/4黄褐シルトを霜降り状に含む。微量の炭化物含む。
	12	黄　褐 2.5Y 5/6	砂	粘性がある。径数mm～数cmの小礫含む。
Ⅷ	13	褐　10YR 4/4	砂　～　礫	砂礫土



南区西壁セクション土層註記表

層位	層No	土　色	土　性	備　考
Ⅰ	1	灰オリーブ　5Y 5/2	シ　ル　ト	グライ。旧耕作土
	2	黄　褐 2.5Y 5/6	シ　ル　ト	旧耕作土。
	3	黄　褐 2.5Y 5/6 暗　褐10YR 3/3	シ　ル　ト 粘土質シルト	
Ⅱ	4	暗　褐10YR 3/3	粘土質シルト	マンガン、酸化鉄、炭化物粒含む。
	5	暗　灰　黄 2.5Y 4/2	シ　ル　ト	マンガン、酸化鉄含む。
Ⅲ	6	灰　黄　褐10YR 4/2	シ　ル　ト	マンガン、酸化鉄含む。
Ⅳ	7	にぶい黄褐10YR 5/4	粘土質シルト	マンガン含む。
	8	にぶい黄褐10YR 4/3	粘土質シルト	マンガン含む。
Ⅴ	9	暗　褐10YR 3/4	粘土質シルト	上面にマンガンを斑状に含む。
	10	暗　褐10YR 3/3	粘土質シルト	
Ⅵ	11	褐　10YR 4/6	シ　ル　ト	粘性強い、マンガンを含む。
	12	褐　10YR 4/6	シルト質粘土	2.5Y 5/4黄褐色土を霜降り状に含む。マンガンを含まない。
Ⅶ	13	暗　褐10YR 3/4	砂	2.5Y 5/4黄褐粘土を霜降り状に含む。微量の炭化物、マンガンを含む。
	14	褐　10YR 4/4	シルト質砂	2.5Y 5/4黄褐砂を含む
	15	褐　10YR 4/6	砂	径数mmの砂粒を含む。
	16	褐　10YR 4/4	砂	径数mm～数cmの小礫含む。
Ⅷ	17	暗　灰　黄 2.5Y 4/2	荒　砂	砂礫層

第4図　基　本　層　位



第５図　Ⅴ層上面検出遺構

Ⅵ　検出遺構と出土遺物

今回の調査で検出された遺構は、Ⅴ層上面で、溝跡、小溝状遺構群があり、Ⅵ層上面で溝跡、小溝状遺構群、竪穴遺構、土坑、ピットが検出されている。

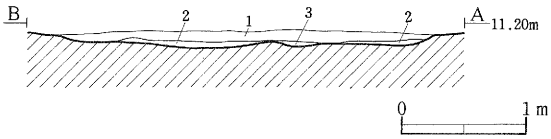
遺物は、整理用平箱（テンバコ32）にして３箱程の出土量である。弥生土器、土師器、埴輪、石製品などがある。

(1)　Ⅴ層上面検出遺構と出土遺物

Ⅴ層上面では、溝跡１条、小溝状遺構群が検出されている。

SD－１溝跡

南区北寄りに位置し、調査区を斜めに横切るように延びている。遺構は調査区外へ延びており、今回検出されたのはその一部であると考えられる。調査区外での方向はおよそＥ－10°－Ｎである。上幅は2.3m～4.4mである。東側が広くなっている。全体に浅く、断面形は皿状を呈している。深さは確認面から底面まで10cm前後である。底面はほぼ平坦で、底面レベルにほとんど変化はみられない。堆積土は３層に分けられる。２層下部には砂粒が認められる。自然堆積であると思われる。遺物は、堆積土中より土師器片、剝片が出土している。土師器は全て摩小片であり詳細は不明である。



ＳＤ－１溝跡堆積土土層註記表

層No.	土　色	土　性	備　考
1	灰黄褐　10ＹＲ4/2	粘土質シルト	
2	暗褐　10ＹＲ3/4	粘土質シルト	酸化鉄を含む。
3	黒褐　10ＹＲ3/2	粘土質シルト	

第６図　ＳＤ-１溝跡断面

小溝状遺構群

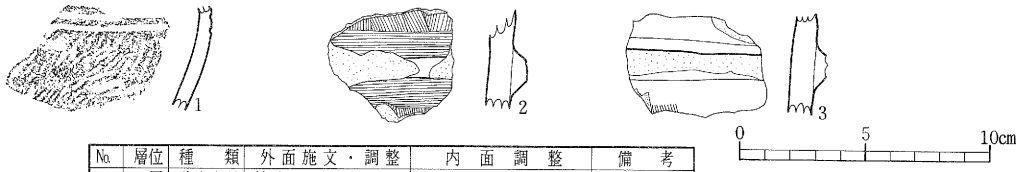
主に調査区内の南及び北寄りで検出されている。長さは0.5m～９mとかなり開きがみられるが、幅は10cm～40cm、深さは２cm～10cmの範囲におさまる。断面形は浅い「Ｕ」字状あるいは逆台形状を呈している。方向は南北方向のものが大部分であるが中には東西方向のものもみられる。小溝状遺構同士で重複しているものもみられるが、大きな時期差は考えられない。堆積土は全て単層であり、10YR4/2 あるいは7.5YR4/3 のシルト質粘土である。重複しているもので新しいものは10YR4/3 のシルト質粘土である。遺物は土師器片が出土しているが全て摩小片であり、詳細は不明である。

遺構外出土遺物

Ⅴ層中出土遺物の中から、特徴的なものを取り上げて掲載する。

7図1は弥生土器片である。体部破片で、地文に縄文（LR横位回転）が施文され、その上に3条以上の沈線文と沈線文間にミガキが施されている。内面は横位のナデ調整が施されている。破片が小さく文様構成も不明であり、詳細な時期、型式は不明である。

7図2、3は円筒埴輪の小破片である。3はⅤ層面検出時に出土したものであるがここで取り上げる。2は凸帯部分で、外面調整はタテハケメのみが観察される。凸帯は断面形が台形で上幅0.8cm前後、下幅2.0cm前後、高さ0.6cm～0.8cmで上、側、下面とも強くナデつけられている。内面は縦方向のナデが施されているが凸帯内面には横方向のナデが施されている。3も凸帯部分であるが外、内面ともに磨滅が著しく調整及び凸帯の形態についても不明である。凸帯の下幅1.8cm前後、高さは0.7cm前後で上幅は不明である。



No.	層位	種　類	外面施文・調整	内面調整	備　考
1	5層	弥生土器	沈線文・LR縄文	ナデ	
2	5層	円筒埴輪	タテハケメ→凸帯貼付	縦方向ナデ→横方向ナデ	
3	4層	円筒埴輪	タテハケメ	マメツ	大部分マメツ

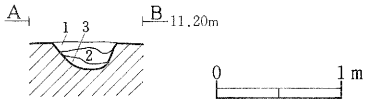
第7図　遺構外出土遺物

(2)　Ⅵ層上面検出遺構と出土遺物

Ⅵ層上面では、溝跡1条、竪穴遺構1基、土坑6基、小溝状遺構群8群等が検出されている。

SD－2溝跡

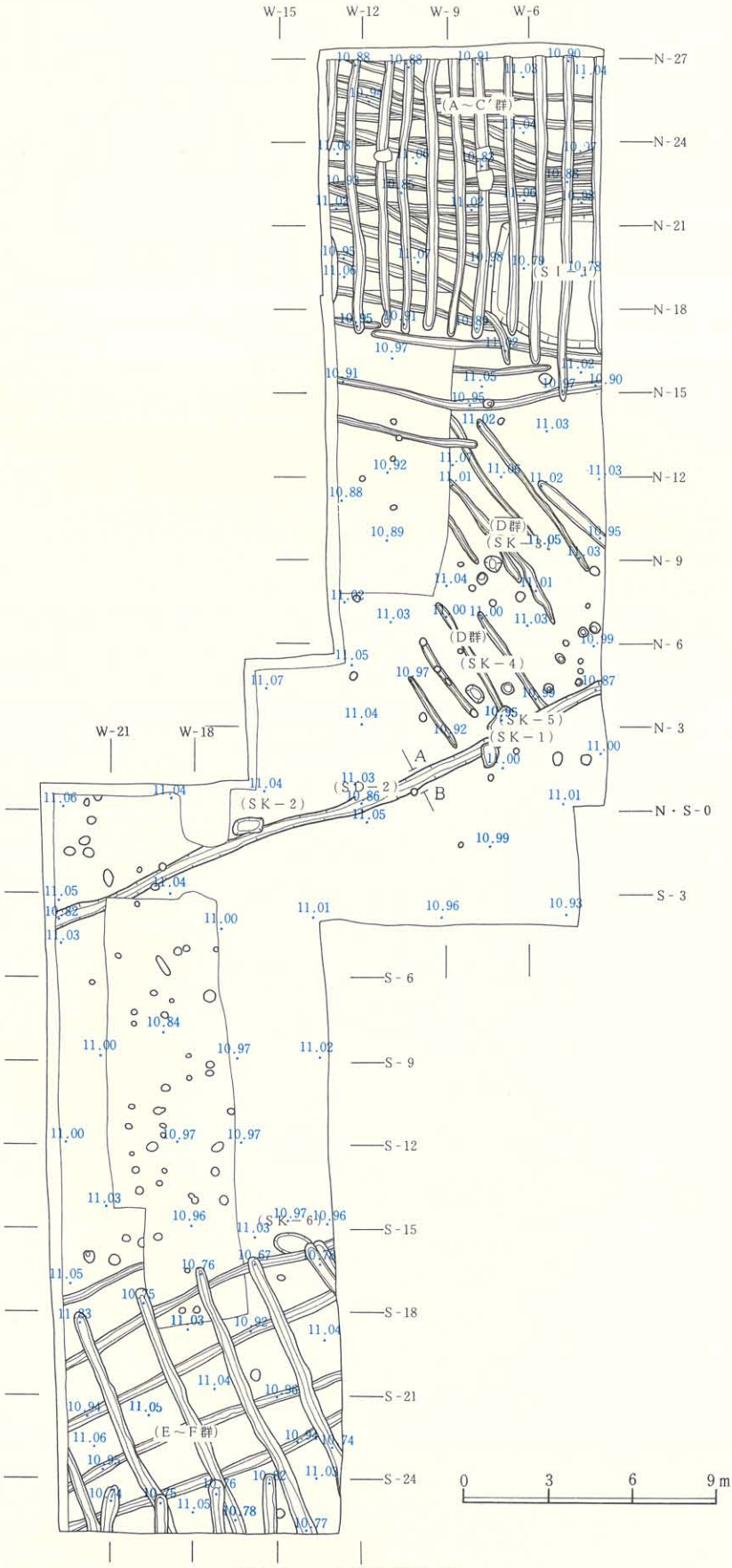
調査区中央に位置し、調査区を斜めに横切るように延びている。遺構は調査区外へ延びており今回検出されたのはその一部であると考えられる。SK－1、SK－2、SK－5の各土坑、小溝状遺構群D群、ピットと重複関係にありSK－1、SK－2、ピットに切られ、その他の遺構を切っている。調査区内での方向は、およそE－15°－Nである。上幅は35cm～60cm、底面幅は15cm～35cmである。断面形は逆台形を呈しているが「U」字状の部分もみられる。深さは確認面から底面まで25cm前後である。底面はほぼ平坦であるが、底面レベルは一定せず、比高差10cm程度で大きくうねっている。堆積土は3層に分けられる。自然堆積であると思われる。



SD-2溝跡堆積土土層註記表

層No.	土　色	土　性	備　考
1	暗褐10YR3/4	粘土質シルト	
2	褐　10YR4/4	粘土質シルト	混在している
	黒褐10YR3/2	粘土質シルト	
3	褐　10YR4/6	粘土質シルト	

第8図　SD-2溝跡断面

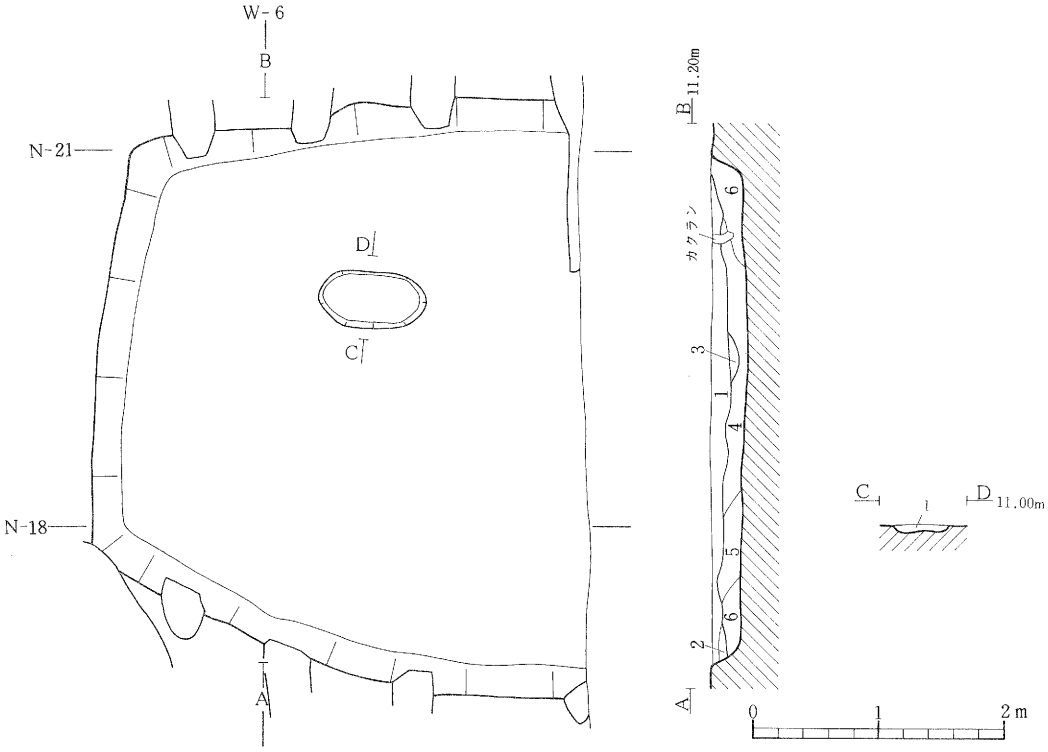


第9図　Ⅵ層上面検出遺構

遺物は、堆積土中より土師器片が出土している。全て小破片であり詳明は不明である。

SI－1竪穴遺構

調査北東部W－3～W－7、N－16～N－21に位置している。遺構は東側の調査区外へ延びており、今回検出されたのはその一部であると考えられる。小溝状遺構群A群と重複関係にあり、小溝状遺構群A群に切られている。また、位置的に同B群、C群、C′群との重複関係も考えられるが、その関係については確認できなかった。全体の平面形、規模は明らかではないが、調査区内では、南北4.75m×東西3.8m以上の隅丸の方形を基調としており、やや南側が膨らんでいる。西壁の方向はN－10°－Eである。堆積土は3層に大別される。壁はVI層から成り、底面から急角度で立ち上がるが、西壁は傾斜が緩やかになっている部分がある。底面は平坦で中央部付近はやや堅くしまっているが、壁周辺は柔らかい。底面の中央部やや北寄りに85cm×45cmの楕円形で、深さ5cmの掘り込みがあり、底面に焼土塊が検出された。これは炉の可能性がある。その他に底面に施設は認められず、ピット、周溝も検出されなかった。遺物は、堆積土、底面から土器及び礫が出土した。



SI-1竪穴遺構堆積土土層註記表

層位	層No.	土色	土性	備考
1	1	黒褐 10YR1/3	粘土質シルト	
	2	黒褐 10YR3/2	粘土質シルト	
2	3	にぶい黄褐10YR4/3	シルト	
3	4	暗褐 10YR3/4	シルト	炭化物含む
	5	褐 10YR4/4	粘土質シルト	炭化物若干含む
	6	褐 2.5YR4/4	粘土質シルト	炭，焼土粒含む

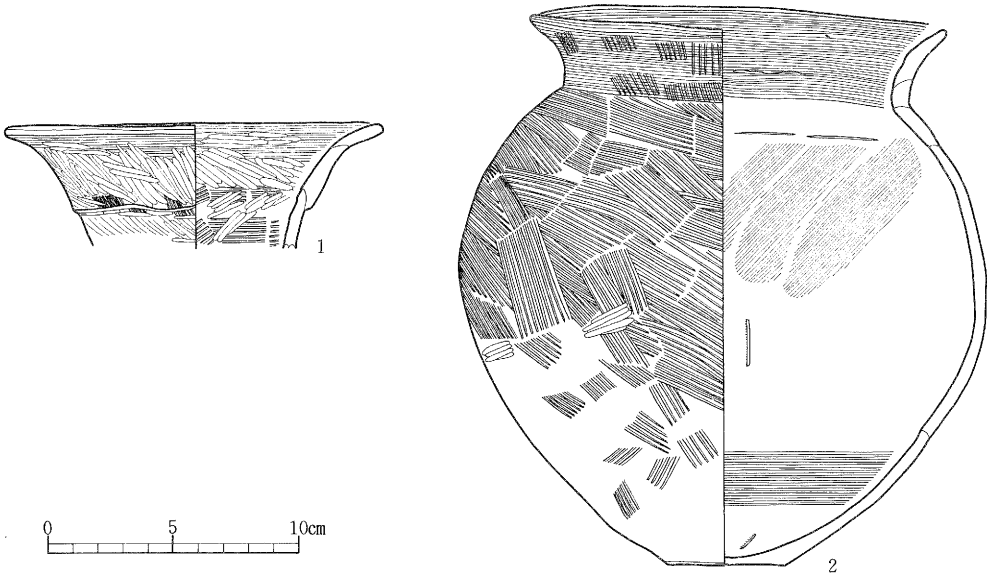
SI－1底面掘り込み堆積土土層註記表

層No.	土色	土性	備考
1	褐7.5YR4/4	シルト質粘土	焼土粒多量，炭化物若干含む

第10図　SI-1　竪穴遺構

（出土遺物）

土器片は全て土師器である。摩小片が多く図示できた資料は２点のみである（第11図１、２）。１は二重口縁の壺の口縁部である。頸部以下は欠けている。下部はやや内弯ぎみに外傾して立ち上がり、上部は大きく外反している。中央部外面には段が認められる。器面調整は、外面上部にヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ、下部にはハケメ、ヘラミガキが施されている。内面は上部にヘラミガキ、下部にハケメ、ヘラミガキが施されている。２は、甕である。小さな平底で体部下半で変化しながら丸味をもって立ち上がり、体部中位に最大径をもつ。口縁部は外反気味に外傾している。内面の体部と口縁部の境は鋭角的に屈曲している。器面調整は、外面で体部にハケメが施されるが、一部にヘラミガキがみられる。口縁部はハケメ、ヨコナデが施されている。内面は体部にナデ、ヘラナデ、口縁部にヨコナデが施されている。



No.	層位	器種	外面調整	内面調整	備考
1	底面	土師器 壺	ハケメ，ヨコナデ，ミガキ	ハケメ，ヨコナデ，ミガキ	
2	底面	土師器 甕	口縁ハケメ，ヨコナデ，体部ハケメ，ミガキ	口縁ヨコナデ，体部ナデ，ヘラナデ	体部下半～底面マメツ

第11図　ＳＩ－１竪穴遺構出土土器

ＳＫ－１土坑

北区南東寄りのＷ－７、Ｎ－２付近に位置している。ＳＤ－２溝と重複関係にあり、本遺構が切っている。平

ＳＫ-１土坑堆積土土層註記表

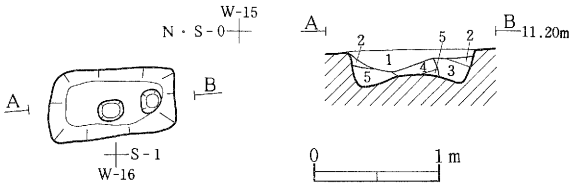
層No.	土色	土性	備考
1	暗褐　10YR3/3	粘土質シルト	マンガン，炭化物含む
2	暗褐　10YR3/4	粘土質シルト	混在している
	褐　10YR4/4	粘土質シルト	
3	オリーブ2.5Y5/4	シルト	

第12図　ＳＫ-１土坑

面形は、長軸0.9m、短軸0.6mの不整な楕円形を呈している。壁は10cm～17cmの高さがあり、北側の壁が高くなっている。底面から急角度で立ち上がる。底面はほぼ平坦である。堆積土は3層に分けられる。遺物は堆積土から土師器の小破片が出土しているが図示資料はない。

SK－2土坑

南区北寄りのW－16、S－0付近に位置している。SD－2溝と重複関係にあり、本遺構が切っている。平面形は、長軸1.05m、短軸0.55mの隅丸の長方形を呈している。壁は26cmの高さがあり、底面から急角度で立ち上がる。底面はほぼ平坦である。堆積土は3層に大別される。底面にピットが2個検出された。遺物は出土しなかった。



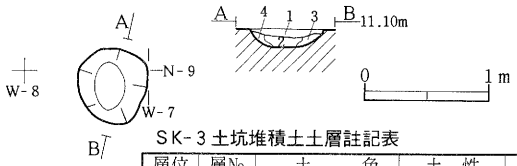
SK-2土坑堆積土土層註記表

層位	層No.	土色	土性	備考
1	1	暗灰黄 2.5Y4/2	シルト	酸化鉄含む
2	2	灰オリーブ 7.5Y5/2	粘土質シルト	酸化鉄含む
	3	灰黄褐 10YR4/2	粘土質シルト	
3	4	オリーブ褐 2.5Y4/3	粘土質シルト	粘性強い
	5	オリーブ褐 2.5Y4/4	粘土質シルト	

第13図　SK-2土坑

SK－3土坑

北区中央やや南寄りのW－7、N－9付近に位置している。他の遺構との重複関係はみられない。平面形は、径約0.6mの不整円形を呈している。壁は15cmの高さがあり、底面から緩やかに立ち上がる。底面は平坦である。堆積土は2層に大別される。遺物は出土しなかった。



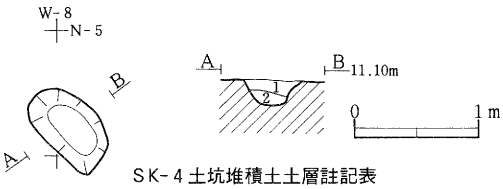
SK-3土坑堆積土土層註記表

層位	層No.	土色	土性	備考
1	1	褐灰 10YR5/1	シルト	
2	2	にぶい黄褐10YR5/3	シルト	
	3	オリーブ褐 2.5Y4/3	粘土質シルト	
	4	褐 10YR5/4	粘土質シルト	

第14図　SK-3土坑

SK－4土坑

北区南寄りのW－8、N－4付近に位置している。他の遺構との重複関係はみられない。平面形は長軸0.75m、短軸0.45mの楕円形を呈している。壁は21cmの高さがあり、底面から緩やかに立ち上がる。底面は平坦である。堆積土は2層に分けられる。遺物は出土しなかった。



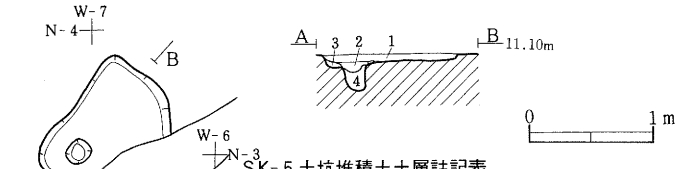
SK-4土坑堆積土土層註記表

層No.	土色	土性	備考
1	暗褐10YR3/4	粘土質シルト	
2	暗褐10YR3/3	粘土質シルト	

第15図　SK-4土坑

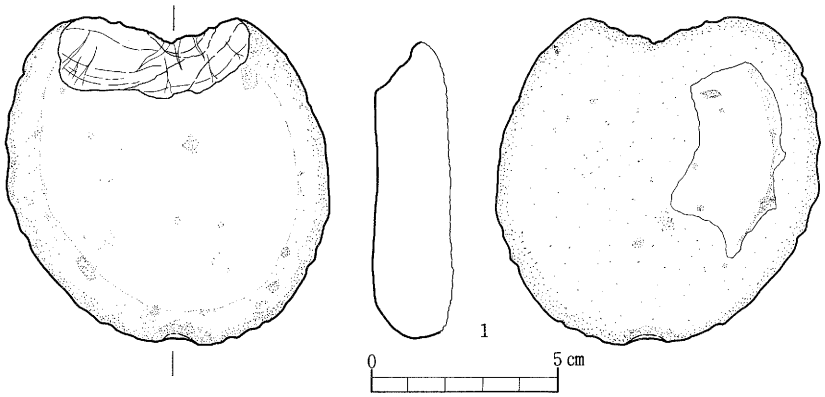
SK－5土坑

北区南寄りのW－7、N－3付近に位置している。SD－2溝、小溝状遺構群D群と重複関係にあり、SD－2溝に切られ、小溝状遺構群D群を切る。平面形は長軸1.1m、短軸は残存長0.6mの隅丸長方形を基調とした平面形を呈している。壁は5cmの高さがあり、底面から急角度で立ち上がる。底面は平坦であるが、ピットが1個検出された。堆積土は3層に分けられる。遺物は底面から礫石器が1点出土した。



SK-5土坑堆積土土層註記表

層位	層No.	土色	土性	備考
1	1	暗褐 10YR3/3	粘土質シルト	
	2	暗褐 10YR3/4	粘土質シルト	
2	3	にぶい黄褐10YR5/3	シルト質粘土	
3	4	褐 10YR4/4	粘土質シルト	



No.	層位	器種	長×幅×厚cm	石材	重量g	使用痕	備考
1	底面	礫石器	9.5×8.5×(2.2)	安山岩	218.5	磨一両面	側面に抉りと凹有

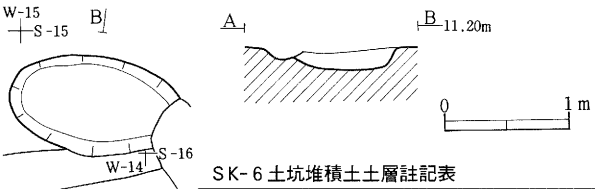
第16図　SK-5土坑・出土石器

(出土遺物)

第16図1は礫石器である。片面は剝落が著しいが、両面に磨面が認められる。また一方の端部に打ち欠きによる抉りがみられ、反対側が僅かに凹んでいる。このことから、石錘として用いられたものである可能性も考えられる。

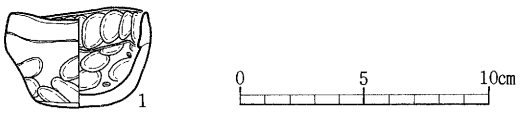
SK－6土坑

南区東南寄りのW－14、S－15付近に位置している。小溝状遺構群E群、F群と重複関係にあり、両者に切られている。平面形は、長軸1.4m以上、短軸0.85mの楕円形を呈している。壁は16cmの高さがあり、底面から緩やかに立ち上がる。底面は平坦である。堆積土は単層である。



SK-6土坑堆積土土層註記表

層No.	土色	土性	備考
1	にぶい黄褐10YR5/3	シルト	炭化物含む



No.	層位	器種	外面調整	内面調整	備考
1	底面	土師器 手捏ね土器	オサエメ	オサエメ	内面に粘痕らしい凹みがいくつかみられる

第17図　SK-6土坑・出土土器

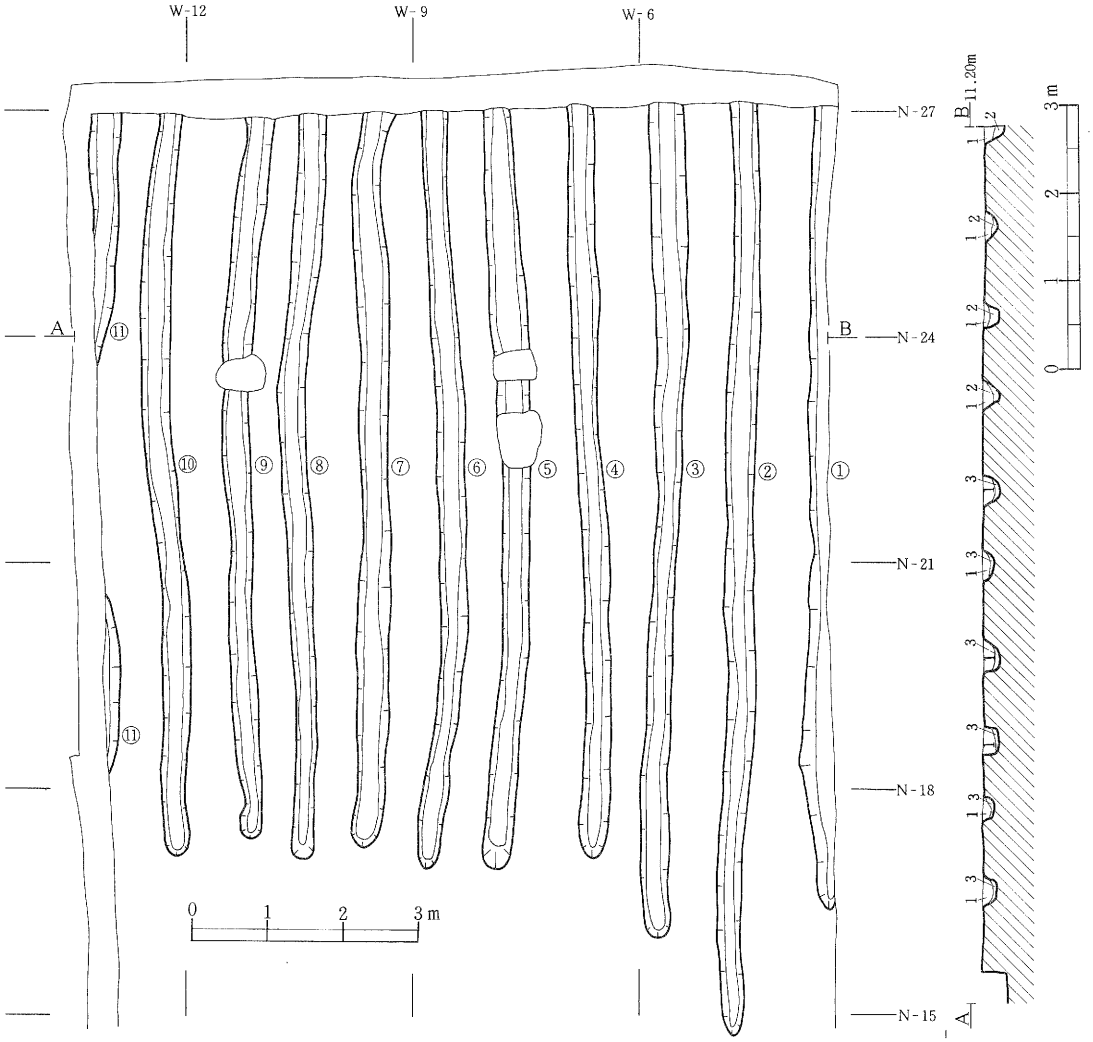
遺物は堆積土より土師器が出土した。図示遺物は手捏ね土器１点のみであり（第17図１）、その他は小破片である。

小溝状遺構群

小溝状遺構群は、北区全般と南区南半部で検出され、方向や重複関係から１つの単位として判別できるものがＡ群～Ｆ群まで８群確認された。

小溝状遺構群Ａ群

北区北半部のＮ－14以北に位置している。調査区内で11条検出したが、東、西、北側の調査区外へ広がっており、全体の範囲、規模は不明である。小溝状遺構群Ｂ群、Ｃ群、Ｃ′群、ＳＩ－１竪穴遺構と重複関係にあり、いずれをも切っている。上端幅は25cm～45cm、深さは13cm～24



第18図　小溝状遺構群Ａ群

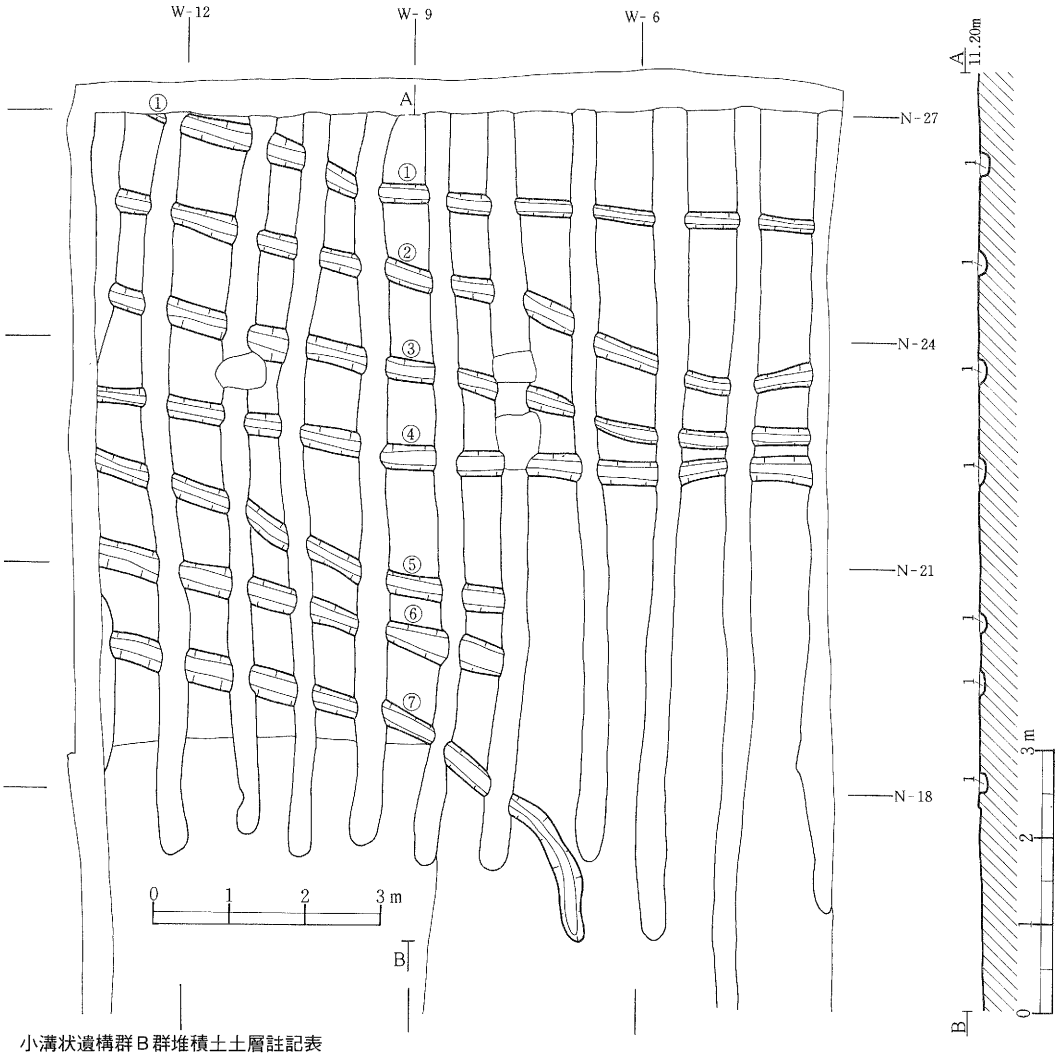
小溝状遺構群Ａ群堆積土土層註記表

層No.	土　色	土　性	備　考
1	暗褐7.5YR3/3	粘土質シルト	マンガン粒,炭化物粒含む
2	暗褐10YR3/4	シ　ル　ト	
3	褐　10YR4/4	粘土質シルト	混在している
	暗褐10YR3/4	シ　ル　ト	炭化物粒微量に含む

cmである。溝の間隔は平均約60cmである。方向はN－10°－Eである。

小溝状遺構群Ｂ群

北区北半部のN－16以北に位置している。調査区内では７条検出したが、東、西、北側の調査区外へ広がっており、全体の範囲、規模は不明である。小溝状遺構群A群、C群、C′群と重複関係にあり、A群に切られ他を切っている。また、位置的にＳＩ－１竪穴遺構との重複関係が考えられるが、その関係については確認できなかった。上端幅は20cm～45cm、深さは６cm～15cmである。溝の間隔は40cm～1.4mと一定せずまちまちである。方向は概ねE－10°～36°－Sの範囲に入るが、W－６～W－９付近で大きく方向を変えているものがある。南端の⑦はW－９付近から大きく南へ弯曲している。また、⑤･⑥については、A群の⑤以東では検出できなかった。



小溝状遺構群Ｂ群堆積土土層註記表

層No.	土　色	土　性	備　考
1	暗褐10YR3/3	粘土質シルト	①④⑤⑥の下部に10YR5/3粘土質シルトが混在する。

第19図　小溝状遺構群Ｂ群

小溝状遺構群C・C′群堆積土土層註記表

層No.	土　色	土　性	備　考
1	暗褐10YR3/4	シルト	C群
2	暗褐10YR3/3	粘土質シルト	C′群

第20図　小溝状遺構群C群(上段)・C′群(下段)

小溝状遺構群Ｃ群、Ｃ′群

北区北半部のＮ－13以上に位置している。Ｃ群は10条、Ｃ′群は２条検出した。位置関係、重複関係から本来Ｃ群はさらに２群に分けられる可能性があり、Ｃ′群はＣ郡に切られており他の名称を付けて分けるべきところであるが、方向性が同一であるという点、Ｂ群に切られている点から類似性が認められたため同群として扱った。それぞれ東・西側の調査区外へ広がっており、全体の範囲、規模は不明である。Ｃ群、Ｃ′群はＡ群、Ｂ群、Ｄ群と重複関係にあり、Ａ群、Ｂ群に切られ、Ｄ群を切っている。上端幅はＣ群で18cm～40cm、Ｃ′群が15cm～23cm、深さは、それぞれ５cm～７cm、４cm～９cmである。溝の間は北側のＣ群で40cm～２ｍ、南側で40cm～1.2ｍ、Ｃ′群で１ｍ前後であるが、屈曲が大きいため一定ではない。方向は概ねＥ－10°～15°－Ｓである。

小溝状遺構群Ｄ群堆積土土層註記表

層No.	土色	土性	備考
1	灰黄褐 10YR5/2	シルト	①②④⑤⑥.②に炭化物が若干含まれる。
2	暗褐 10YR3/3	シルト	③
3	オリーブ褐 2.5Y4/3	粘土質シルト	⑦～⑩

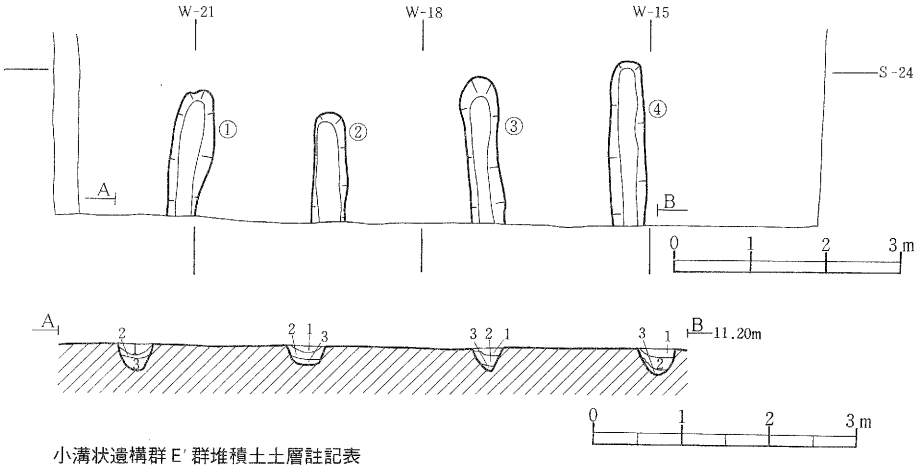
第21図　小溝状遺構群Ｄ群

小溝状遺構群Ｄ群

北区中央部より南半のＮ－２～Ｎ－14に位置している。調査区内で10条検出したが、東側の調査区外へ広がっており、全体の範囲、規模は不明である。小溝状遺構群Ｃ群、ＳＤ－２溝跡、ＳＫ－５土坑と重複関係にあり、全てに切られている。群の中で④と⑤が重複している。上端幅は15cm～45cm、深さは４cm～８cmと遺存状況はよくない。溝の間隔は概ね70cm～80cmで、ほぼ一定である。方向はＮ－20°－Ｗ前後である。

小溝状遺構群Ｅ′群

南区南端部分Ｓ－24以南に位置している。調査区内で４条検出したが、南、西側の調査区外に広がっており、東側に広がる可能性もあることから、全体の範囲、規模は不明である。小溝状遺構群Ｅ群、Ｆ群と重複関係にあり、両者を切っている。上端幅は35cm～45cm、深さは23cm～30cmである。溝の間隔は1.4m程度で、ほぼ一定である。



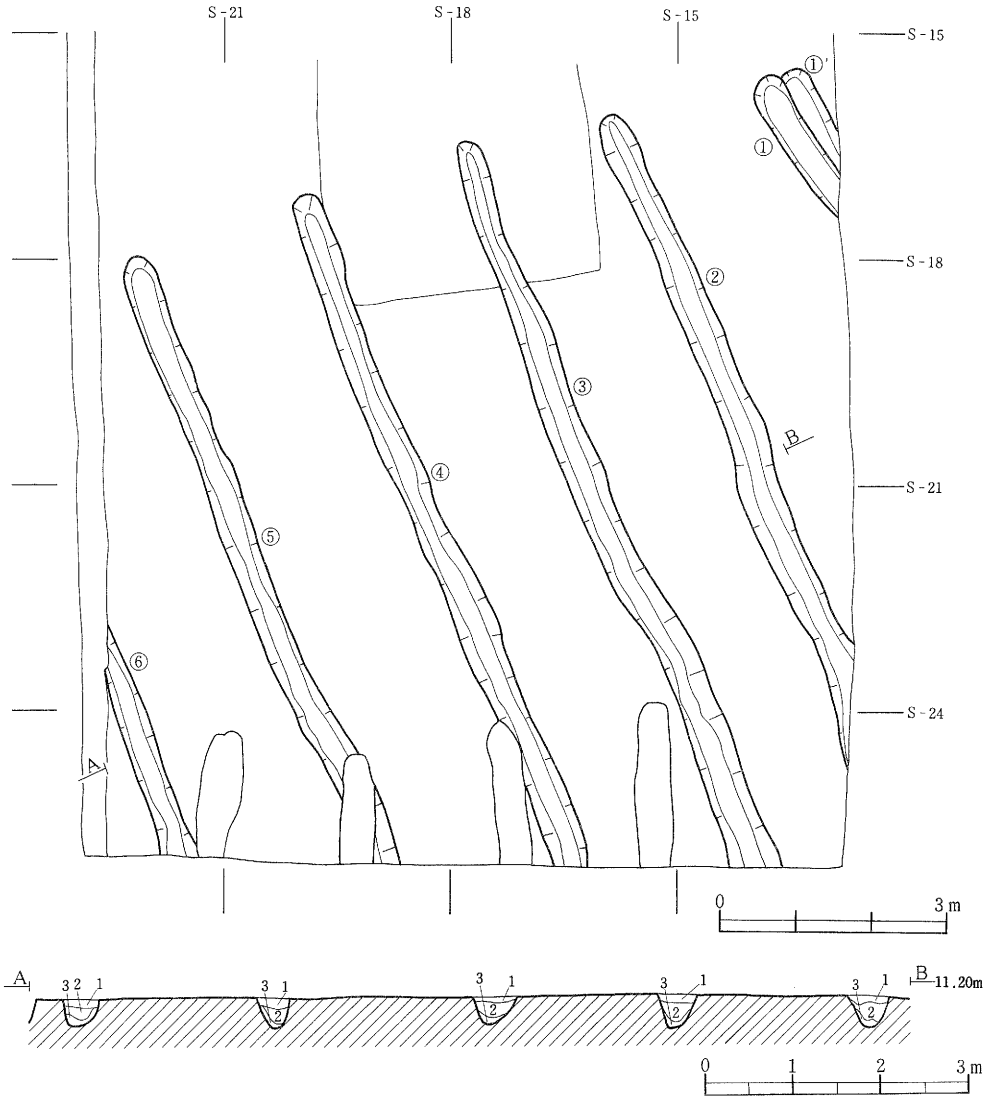
小溝状遺構群Ｅ′群堆積土土層註記表

層No.	土色	土性	備考
1	にぶい黄褐10ＹＲ4/3	シルト	粘性強い。
2	暗褐 10ＹＲ3/4	粘土質シルト	
3	にぶい黄褐10ＹＲ5/4	粘土質シルト	混在している。
	晴褐 10ＹＰ3/3	粘土質シルト	

第22図　小溝状遺構群Ｅ′群

小溝状遺構群Ｅ群

南区中央部より南半部のＳ－15以南に位置している。調査区内で８条検出した。東、南、西側の調査区外へ広がっており、全体の範囲、規模は不明である。ＳＫ－６土坑、小溝状遺構群Ｅ′群、Ｆ群と重複関係にあり、Ｅ′群に切られ、ＳＫ－６土坑、Ｆ群を切っている。上端幅は40cm～50cm、深さ30cm～40cmとほぼ一定である。溝の間隔は1.5m～2.1mあり、いずれも８群の小溝状遺構群中で最も大きい。方向はＮ－10°－Ｗである。



小溝状遺構群E群堆積土土層註記表

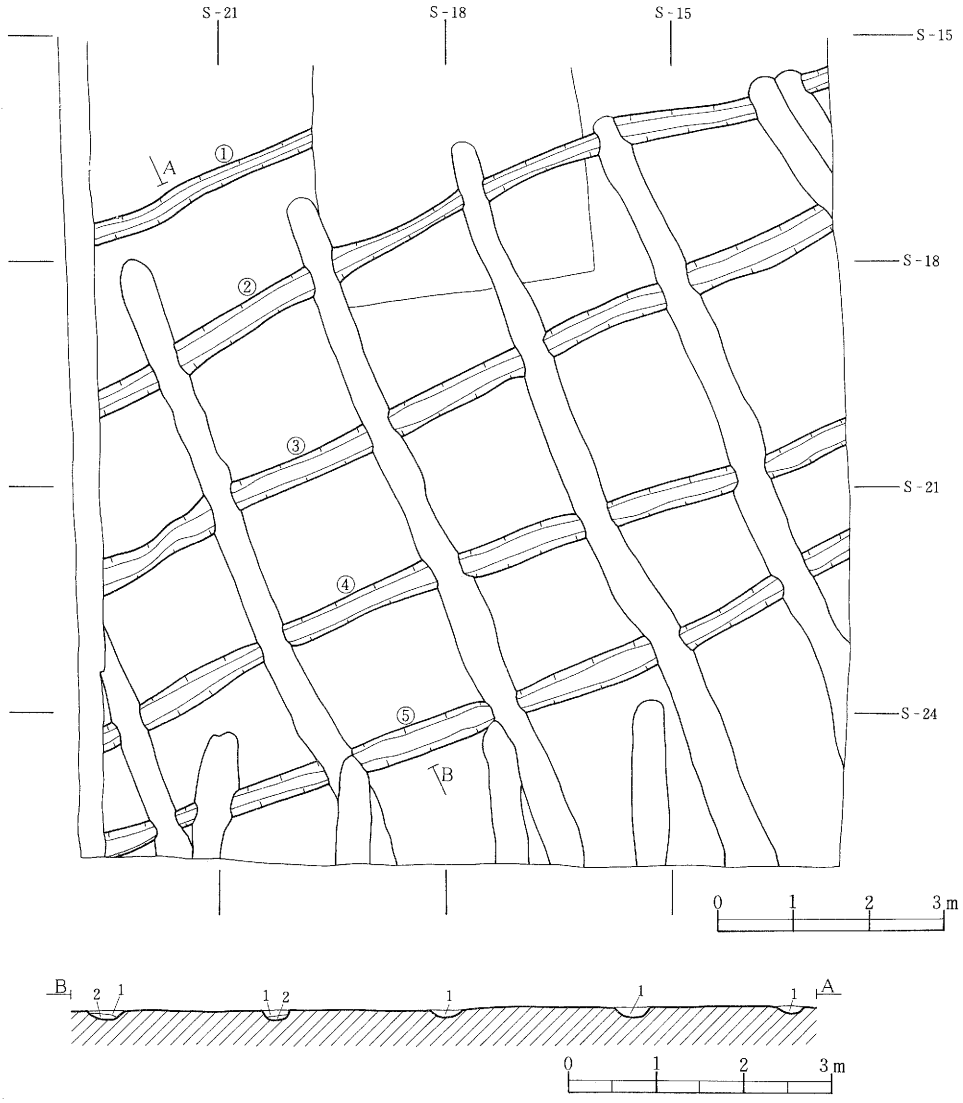
層No.	土　色	土　性	備　考
1	暗褐10YR3/3	シルト	③に10YR4/4の部分有。
2	黒褐10YR2/3	シルト	
3	褐　10YR4/4	シルト	混在している。④では10YR4/4シルトのみ。
	褐　10YR4/6	シルト	④,②では底面付近に砂が見られる部分有。

第23図　小溝状遺構群E群

小溝状遺構群F群

南区中央部より南半のS－15以南に位置している。調査区内で5条検出した。東、南、西側の調査区外へ広がっており、全体の範囲、規模は不明である。SK－6土坑、小溝状遺構群E群、E'群と重複関係にあり、SK－6土坑を除いて他の遺構全てに切られている。上端幅は20

cm～40cm、深さは8cm～13cmである。溝の間隔は1.0m～2.1mである。方向はE－15°－Nである。



小溝状遺構群F群堆積土土層註記表

層No.	土　色	土　性	備　備
1	暗褐 10YR3/4	シルト	
2	褐 10YR3/4	粘土質シルト	

第24図　小溝状遺構群F群

小溝状遺構群では、遺物は、B群及びC′群を除く各群から出土している。出土遺物は全て土師器片である。全体を把えられる程の破片はないが、全て成形に際してロクロを使用しないも

ので、外面には細かいハケメ調整、内面にはナデ、ヘラナデ調整のものが多い。内面に黒色処理が施されたものは全くみられない。

ピット群

調査区の北部を除いてほぼ全域にピットが検出されたが、旧耕作土から掘り込まれたものも多く、Ⅵ層に伴なわないものや、遺構とは認められないものがかなりの数に上ると思われる。特に調査区の中央部に多く検出されているが、柱痕跡が確認されるものが少なく、規模、形態に規格性はみられず、柱穴と考えられるピットは少数であり、建物跡の存在については不明である。ピット内からの遺物の出土はない。

Ⅶ まとめ

大野田古墳群は名取川の形成した自然堤防上に立地している。今回の調査区は古墳群の西寄りに位置しているが古墳は検出されなかった。

Ⅴ層上面で検出された遺構には溝跡、小溝状遺構群がある。いずれも遺存状況が悪く詳細は不明である。

Ⅵ層上面では、溝跡、竪穴遺構、土坑、小溝状遺構群などが検出されている。溝跡は調査区を東西に横断しており、何らかの区画施設の一部とも考えられる。竪穴遺構は、底面に焼土塊がつまった掘り込みがみられるが、周溝やピットなどの施設が検出されず、竪穴住居跡とは考え難い状況である。小溝状遺構群は8群みられるが、全体の規模が明らかなものはほとんどみられない。調査区北側（A～C′群）、中央やや北寄り（D群）、南側（E～F群）にまとまりがみられる。D群は最も遺存状況が悪く、かなり削平を受けているものと思われる。北側のものは南北方向のもの（A群）と東西方向のもの（B～C′群）があり、竪穴遺構周辺に分布する。最も新しいA群が竪穴遺構と重複関係にあり竪穴遺構より新しいことが確認されているが、その他のものは重複関係が確認されず、また、B群、C群のように竪穴遺構を避けていると考えられるものもみられることから、B群、C群が営まれた時期には竪穴遺構が存在していたかあるいは埋没しきらずに窪地状になっていたという可能性がある。また南側のものは北側のものと方向が異なるものがある（E群、F群）。E群の堆積土の一部をサンプリングし水洗したところ植物種子が検出された。(註2) これらの小溝状遺溝群は畑跡あるいは畝跡と考えられているものであるが、耕作方法や栽培された作物など不明な点も多く、具体的な畑を復元するには今後の資料の蓄積からの検討が必要であると思われる。

出土遺物は、Ⅴ層出土遺物には土師器片の他埴輪片、弥生土器片があるが確実にⅤ層に帰属

するものはみられない。VI層出土遺物には土師器及び石製品がある。土師器では、全体を把握できるものは、竪穴遺構出土の甕１点のみであるが、体部中位に最大径をもつ丸味の強い器形で、ロクロを使用せず、口縁部内、外面にヨコナデ、体部外面にハケメ、体部内面には、ナデやヘラナデが施されている。また、二重口縁の壺が共伴している。以上のような特徴をもつ土師器の甕は色麻町色麻古墳群(註3)、蔵王町大橋遺跡(註4)などに類例がみられ、塩釜式とされている。その他のものについてもロクロを使用しているものはないことから、ほぼ同時期のものと考えられる。石製品は礫石器で、両面が磨面となっている。抉りと凹みが対になっており石錘の可能性がある。

遺構の年代については、VI層検出遺構については古墳時代（塩釜式期）に属するものと考えられ、V層検出遺構についてはそれ以降のものであるが、時期的な下限については不明である。

註2)　東北大学農学部　星川清親教授より下記のコメントをいただいた。
発掘物の形態比較から、全サンプルは、同一の植物の果実（種子）の殻皮であると判断される。
種名を特定するためには、資料として困難があるが、長期間土中に埋蔵されていて、なお残存したことから、硅酸分を多く含むグループと思われる。そうなるとこの形態からはカヤツリグサ科のものではないかと思われるが該当する種が見当たらない。やむなく形態からの推定と、河川縁の水湿地によく生えているなどの点を考慮して下記の草種を想定した。
イシミカワ（タデ科）Polygonum perfoliatum L
川べり、草地に生える、１年草、つる性、夏秋開花、果は球形、藍色、径３～５㎜

註3)　古川一明：『宮城県営圃場整備等関連遺跡詳細分布調査報告書（昭和57年）－色麻古墳群』宮城県文化財調査報告書第95集　1983年
註4)　太田昭夫：『東北自動車道遺跡調査報告書IV－大橋遺跡』宮城県文化財調査報告書第71集　1980年

写真１　調査区周辺航空写真（1965年仙台市撮影）

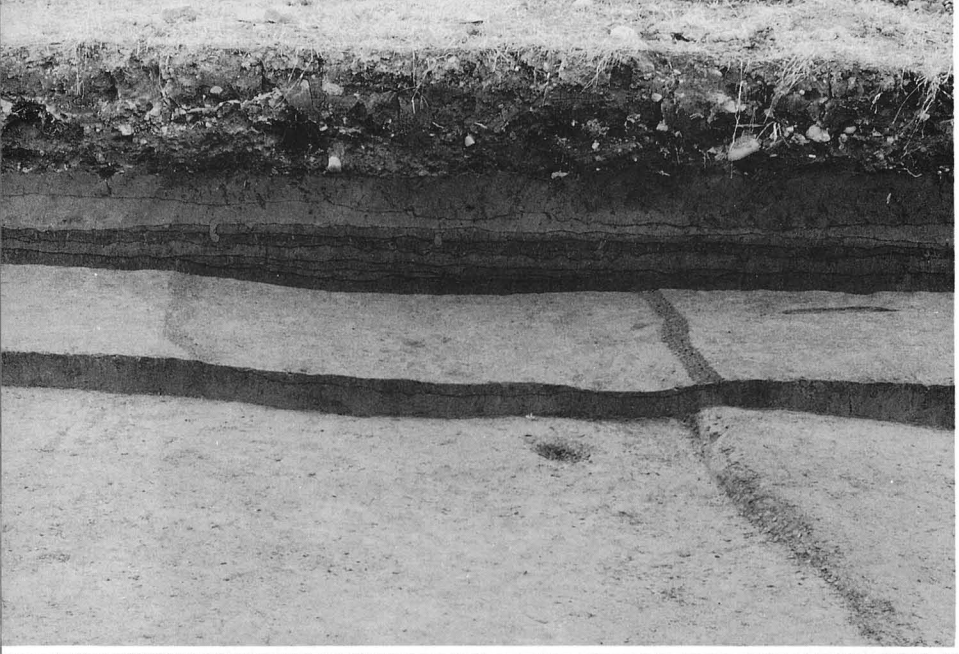


写真２
ＳＤ－１溝跡
セクション
（東→）

写真３
ＳＤ－１溝跡
（北→）

写真４
Ｖ層上面検出
小溝状遺構群
調査区北側（南→）

写真５
調査区北側Ⅵ層
上面遺構確認
壮況（南→）

写真６
調査区南端Ⅵ層
上面遺構確認
状況（北→）

写真７
ＳＩ－１竪穴遺溝
（南→）

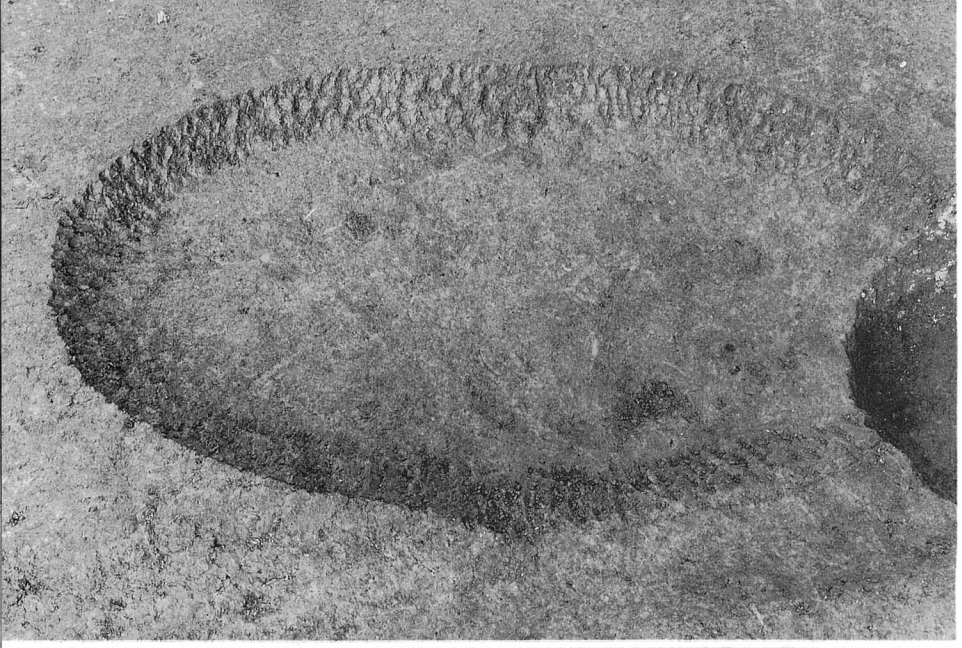


写真８
ＳＫ－６土坑
（南→）

写真９
小溝状遺構群
Ａ群（南→）

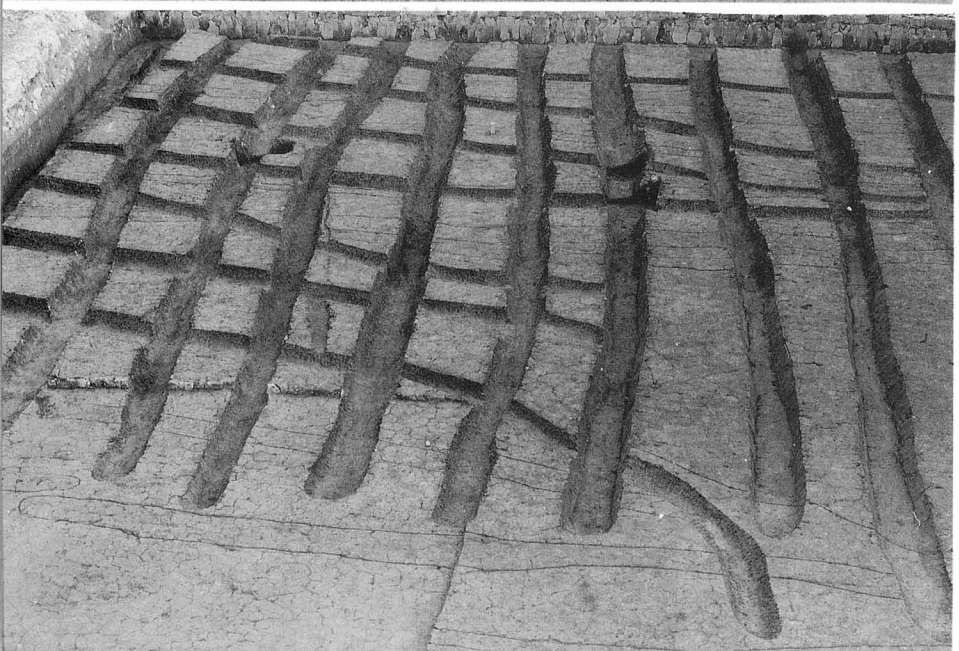


写真10
小溝状遺構群
Ａ群、Ｂ群
（南→）

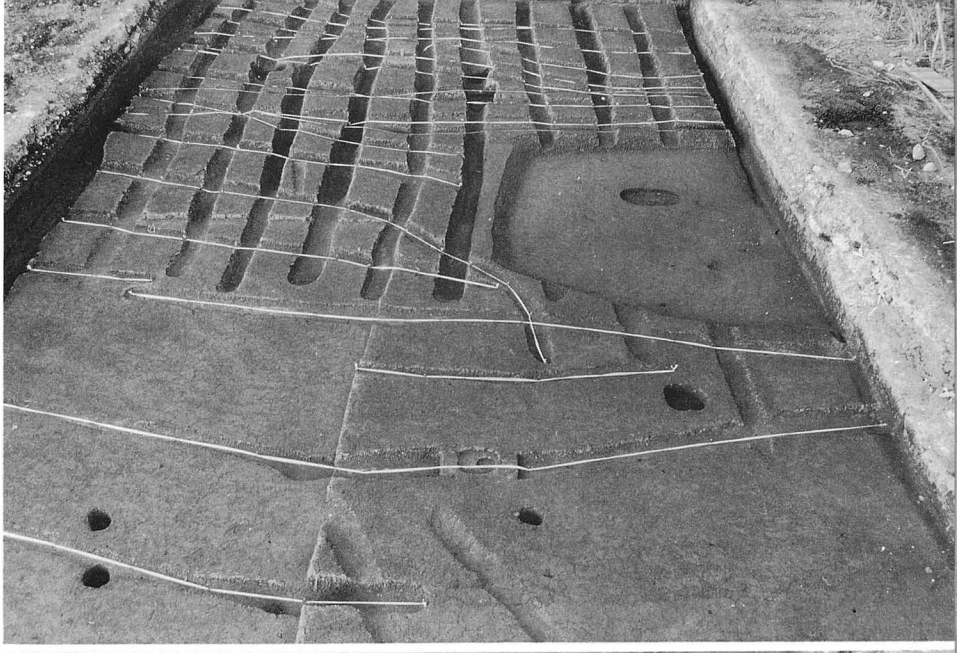


写真11
調査区北区北半部
の状況（南→）

写真12
調査区北区南半部
の状況（南→）

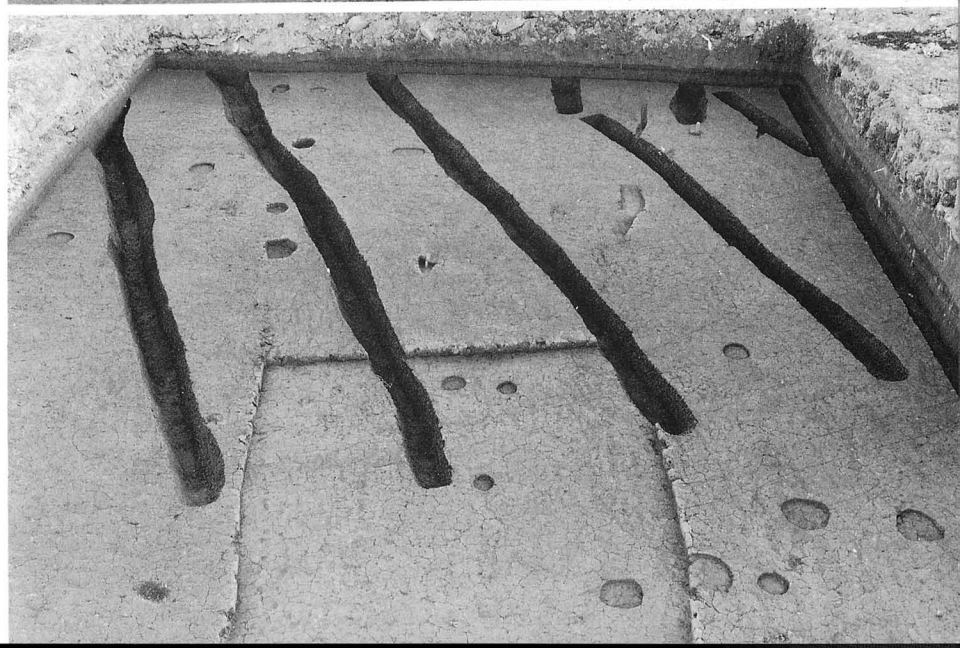
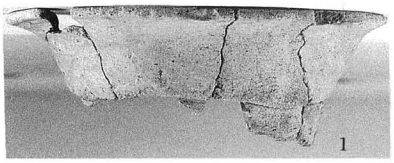


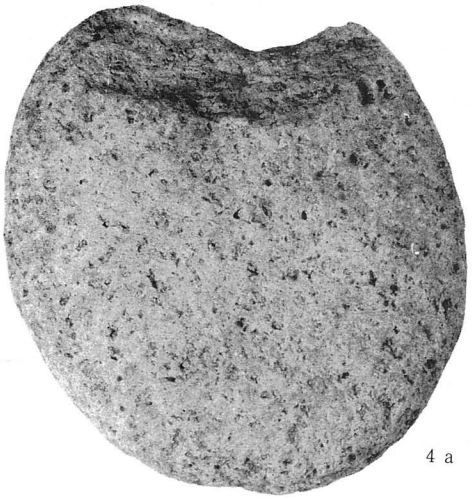
写真13
小溝状遺構群Ｅ群
Ｅ´群（北→）

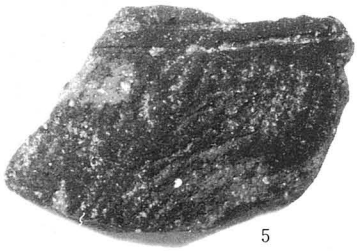
写真14
小溝状遺構群Ｅ群、
Ｅ´群、Ｆ群（北→）

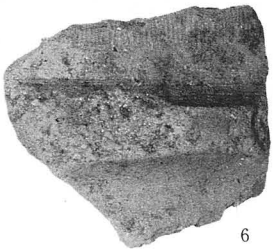
写真15
北区西壁
セクション

写真16
南区西壁
セクション









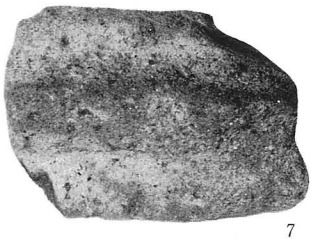


写真17　出土遺物　1．第11図1　2．第11図2　3．第16図1　4．第17図1　5．第7図1　6．第7図2　7．第7図3

文 化 財 課 職 員 録

課　長　　早坂春一

管　理　係

係　長　　鴇田義幸
主　事　　白幡靖子
〃　　山口　宏
〃　　佐藤良文
〃　　高橋三也

調査第一係

係　長　　佐藤　隆
主　任　　田中則和
教　諭　　太田昭夫
主　任　　篠原信彦
〃　　木村浩二
主　事　　吉岡恭平
教　諭　　橋本光一
主　事　　斎野裕彦
教　諭　　高倉祐一
主　事　　大江美智代

調査第二係

係　長　　加藤正範
主　任　　熊谷幹男
教　諭　　佐藤好一
主　事　　佐藤　洋
〃　　金森安孝
〃　　佐藤甲二
教　諭　　小川淳一
主　事　　渡部弘美
〃　　工藤哲司
〃　　主浜光朗
〃　　長島榮一
〃　　工藤信一郎
〃　　荒井　格
〃　　中富　洋
〃　　平間亮輔
教　諭　　渡辺雄二
主　事　　佐藤　淳
〃　　渡辺　紀

仙台市文化財調査報告書第138集

大野田古墳群発掘調査報告書

平成２年３月

発行　仙台市教育委員会
仙台市青葉区国分町３－７－１
仙台市教育委員会文化財課

印刷　㈱東北プリント
仙台市青葉区立町24-24　ＴＥＬ263-1166